〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕
新京日日新聞 夕刊 十二月二十四日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢 廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三二〇〇 營業局專用(3)三二〇五
發行人 松本勇 編輯人 十河榮忠 印刷人 水越内之介
昭和十二年十二月二十五日 新京日日新聞 （月曜日） 第五千三百二號 （一）

上海の前敵總退却開始
わが軍空陸呼應して追擊

【上海廿四日發國通至急報】第〇艦隊報道部廿四日午前十一時發表
一、敵の第一線は本朝より總退却を開始せり
二、わが海軍航空隊は全力をあげて退却する敵を爆擊中なり
【上海廿四日發國通至急報】第〇艦隊報道部廿四日午前十一時十五分發表＝敵の第一線一部は今朝來總退却を開始し、わが軍は空陸相呼應して追擊を開始せり

山西の敵陣破局へ

【天津廿二日發國通】山西省西部省境の難攻娘子關附近の戰線は峨々たる山岳重疊し、河北省より一歩境省を越えると硬土層の斷崖絶壁が連つてをり、敵はこの掘鑿の容易な硬土層を利用して難攻不落の陣地を構築し、峽谷を走る正太線と之に併行する道路に對して屈强の守備陣を張つてゐる、この方面の敵は約四、五ケ師中央軍の精鋭に共產軍朱德の部隊を交へてひた押しに迫る皇軍の猛擊に十三日以來必死の抵抗を試みつゝあるが、空陸呼應するわが軍の進擊にさしもの敵堅壘も全面的破局に一步一步近づきつゝあり、敵陣總崩れとなつてをり、西部山西に雪崩をうつて皇軍の進擊するときは瞬時に迫つた、井陘より新關に至る道路を破竹の勢をもつて進擊した鯉登部隊は正太線に沿うて西南進する羽鳥部隊と協力、附近一帶の山地にある洞窟陣地に據つて頑强に抵抗する敵に猛烈な銃砲火を浴せて進擊、十三日遂に娘子關の舊關を占領したが、四方より山嶮に據る敵はわが軍を誘つて包圍陣を張つて逆襲、わが方はこれにしばしば猛突擊を敢行して敵陣地を粉碎すること幾度か、廿二日遂にわが軍は一部をもつて正太線西北方高地を完全に占領するとゝもに、一部をもつて井陘より舊關に通ずる道路上の校桃關より南方に進擊、附近高地の要點を確保した、新關の敵は依然抵抗を續けつゝあるが、娘子關附近全線に亙る敵は敗色漸く濃厚であつて最後のあがきを試みるにすぎない

【井陘廿三日發國通】舊關に到達せる鯉登部隊と相呼應し小林部隊は十七日より井陘西方山地に據る敵に對し總攻擊を開始、遂に廿三日山西省境に達したが、この戰鬪は旅順における二〇三高地の奪取にも比すべき壯烈極まる大山岳戰で、突擊につぐ突擊の大激戰であつた
山西省内正太線に沿う娘子關は、その名の示す如く未だかつて敵軍に敗れたことなく處女の誇りをそのまゝ天下の嶮と謳はれ、如何なる名將もこの嶮を拔いた例がないといふ全く「一夫當關萬夫無開」の天然の要害であるが、閻錫山は三年前からこの嶮に加ふるに堅固な洞窟陣地を構築し、山といふ山は皆塹壕をもつてつなぎ銃口を井陘に向け、飛行機の爆擊にも完全な防禦施設をなし、所謂トーチカよりも堅固といはれてゐるものだけに、わが第一線部隊の進擊の萬苦は筆舌に盡し難きものがあるが、わが軍將兵の邁進するところ道自ら開き、さしもの堅陣も次々とわが手中に入りつゝある

中央、共產各軍を續々集結

【井陘廿二日發國通】娘子關附近にある敵軍は主として涿洲、保定等の各戰においてわが軍のため打破られた中央軍の孫連仲の敗殘兵と、山西軍および朱德麾下の共產軍の合同部隊であるが、敵はわが軍が史上難攻不落と稱せられた娘子關の嶮を逐次攻略しつゝあるに大いに驚き、太原方面より山西軍、共產軍を列車で續々集結せしめつゝあり、裝甲列車の數も二十餘といはれてゐる、現在判明せる敵は第二十七師の一ケ旅、第卅一師、第五十三軍の一ケ旅、第百六十九師の八旅、第百七十七師等の中央軍、第六十八師、第八十二師、第百一師、第百十師等の山西軍、朱德の率ゐる共產軍（勢力不明）その他正太鐵路護路軍第四軍、孫楚冀察遊擊隊孫田英等であるが、なほ陽泉には中央軍第五軍防境保甲團あり、青年先鋒隊第百旅も學生、青年を率ゐる武器をとつて娘子關に向つたといはれる、又興味あるのは青年軍には女學生が多數參加してゐることである

北上の韓軍を猛爆
敵軍算を亂して潰走す

【〇〇廿三日發國通】山東省方面に蟠居する韓復渠軍は數日來濟陽方面より黄河を越えて逐次商河、臨邑に進出し、德縣寧回の體勢を示しつゝあるを知つたわが陸の荒鷲中平部隊は隊長自ら出動、猛烈なる爆擊をもつて敵の企圖を完全に挫折せしめた、即ち德州寧回を目指して韓復渠軍北上中なりとの報告に接した中平部隊の〇〇機は二十二日朝霧を衝いて勇躍〇〇根據地を離陸、陵縣東南方鳳凰店附近に在りし第二十九師の主力に對し反復大爆擊を敢行し、陵縣より前進中なりしわが赤柴部隊の行動を掩護協力して午前十一時歸還したが、續いてわが中平部隊長自ら〇〇機に搭乘、颯爽として陣地に立ち午後一時大擧臨邑を襲ひ敵の師團司令部および主要建物、敵密集地區に對し冒險的大爆擊を敢行した、わが投下する爆彈は目的物を的確に爆破し主要建物よりの發火で同市は大火災を起し完全に潰滅、混亂の坩堝と化した、敵部隊はわが猛爆に耐へ切れず東方商河および東南方濟陽方面へ向け退却を續けてゐるが、津浦線沿線禹城方面には既に敵影を認めず、今次のわが臨邑の敵打的空爆は完全に敵の出鼻を挫き敵の北上の企圖を完全に挫折せしめこの方面の戰況の進展に多大の效果を與へたものである

末永部隊 馬腰務を占領

【德州廿三日發國通】末永部隊は廿三日午後一時陵縣南方約十二キロ馬腰務の敵二千を驅逐し同地を占領した、同部隊の進行によりわが軍の禹城方面に對する前進態勢は一段と有利になつた

荒鷲の肉彈 岡部軍曹戰死

【〇〇根據地廿三日發國通】廿三日午後一時半〇〇根據地を出發したわが陸の荒鷲部隊が臨邑空襲の際敵彈に機關部を射ち貫かれ火災を起した愛機とゝもに敵の本據に突入したといふ壯烈な美談……
中平部隊の〇〇機が臨邑城上空にその勇姿を現した時である、空襲を恐れた敵の大部隊は俄かに大動搖を來すとゝもに地上より猛烈な高射砲の十字火を浴せて來た、わが果敢な荒鷲部隊は直ちに爆擊の隊形をとり銃砲火の中に獲物を見つけた猛鷲の如く次ぎから次ぎにサッと急降下して敵の密集せる眞只中目がけて突擊中、突如紅蓮の焔に包まれた一機がある
見れば岡部重次軍曹（埼玉縣出身）の操縱する〇〇機だ、敵彈を機關部に受けた岡部機は火災を起しながら異樣な白煙をあげはじめた、機上には岡部軍曹のほかに小左内重助（三重縣出身）森山二郎（青森縣出身）の兩軍曹が搭乘してゐる、火の塊だ、岡部機は俄かに横轉逆轉、見る見る地上に向け墜落しはじめた、嗚呼岡部機が落ちて行く、荒鷲達の眼が爆擊の眞只中に涙ながら僚機の最後を見屆けやうとしてゐるときだ、今まで錐揉みの形で落ちつゝあつた岡部機がスーッと一直線に立直つたかと見るゝと敵の師團司令部目がけてまつしぐらに落ちた、空からの肉彈だ、眞紅の焔と化した岡部機は大和魂の塊となつて大音響とゝもに敵の師團司令部に突入、木ッ葉微塵にこれを粉碎したのである、かくて臨邑を空襲して敵に多大の損害を與へたわが荒鷲部隊は〇〇根據地に歸還したが、三勇士を失つた中平部隊長以下空の勇士達は暗然たる中にも烈々たる復讐の念に燃えつゝ午後四時根據地の一隅で慰靈祭を執行し、臨邑空爆の華と散つた三勇士の冥福を祈つたのである

汾陽を空爆

【天津廿三日發國通】太原西南方汾陽に敵機ありとの報にわが島田部隊の〇〇機は廿三日午後一時頃〇〇根據地を出動、一氣に汾陽飛行場を急襲爆擊し敵の飛行機を爆破し去つた

縣政府の工場で毒ガス彈を製造
南京政府のデマ放送暴露さる

【天津廿三日發國通】上海、北支各戰線において支那軍が毒ガス彈を使用せることは既にかくれもない事實であるにも拘らず南京政府は日本軍こそ毒ガスを使用してをり、わが方はこれに對する報復として毒ガスを使用しようとすら考へてゐない、等の白々しいデマを放送してゐるが、すでに左の通り支那側の毒ガス工場の詳細と内容すら判明するに至つてゐる、目下最も活躍してゐる工場は隴海線の洛陽と開封の中間にある鞏縣附近孝義驛近くにある縣政府の工場で、日々莫大な毒ガス彈を製造してをり、そのガスも最も非人道的なイペリット、ルイサイト、アダムサイト、アセトホーン等窒息性、靡爛性、嚔性の兇惡なる性質のものである、かつてはアメリカ人技師が製造の指導に當つてゐたといはれるが今では支那人自身でやつてゐる模樣である

京漢線彰德の敵兵陸續南方へ退却

【順德廿三日發國通】廿二日朝退却を開始した彰德附近の敵兵は廿三日も引續き列車又は徒歩で續々新郷方面へ南下しつゝあることが大石伍長操縱、中川中尉同乘の〇〇機の活躍により判明した、中川機が廿三日午前九時頃彰德の西北廿四キロの觀臺鎭上空に現れたとき、集團せる敵兵は蜘蛛の子を散らす如く四散し、わずかに迫擊砲で射擊したのみで、同中尉は六百米高度で機關銃をもつて應射したところ敵兵は將棋の駒を倒すが如くばたばた倒れる樣が手にとるやうに見えたといふ、彰德附近には敵影を全然認めなかつたが、湯陰の中間附近には二ケ列車が黒煙を吐いて南下しつゝあり、更にその南方に二ケ列車、湯陰驛構内にも二三列車が南方に向つて停車してゐるのが認められたので同中尉はこれを爆擊、敵兵の心膽をさむからしめたが、敵兵は逃亡列車を編成して南下する一方、地上退却部隊は鐵道と併行の道路を彰德南方卅キロの湯縣附近まで蜿蜒長蛇をなして南下しつゝあり、これに機上より射擊を加へると小橋にも小銃、機關銃をもつて應射してくる、見渡す限り黄褐色に枯れ果てた河南の原野を行進する大部隊は恰かも一幅の名畫のやうに秋の陽の中に浮び上つてゐたといふ

曾木克彦君 一死報國果す

【北京廿三日發國通】廣安門事變に重傷を負ふた櫻井部隊長は松葉杖に身を支へて京漢線の最前線に活躍中であつたが廿三日北京に歸つた同部隊長によつてかつて田中清玄一派の再建共產黨事件に連坐した元日本共產黨員曾木克彦君の壯烈なる戰死の模樣が明かにされた、曾木君はわが特務機關靖郷隊の一員として櫻井部隊長に從ひ最前線に出動、幾度か敵の銃火を浴びつゝ重要なる特別任務について奮鬪してゐたが、去る十八日沙河の前岸に侵入し敵前數十米の地點に於て敵彈命中して遂に戰死した、折柄日は暮れ迫つて一面の棉畑は雪のやうに煙る黄昏時であつた、曾木君が腹部に彈丸を受けてばつたり倒れたので、櫻井部隊長は思はず松葉杖を捨てゝかけ寄り「曾木しつかりせよ」と抱き起すと曾木は「もう駄目です」と低く答へ終るや苦しい聲をふりしぼつて「天皇陛下萬歳」を絶叫して息を引取つた一度は赤の魔手に魂を失つた身が飜然悟つて日本國民に還つた同君の死こそ異色ある戰死といふべく、櫻井部隊長以下全員同君の屍を圍んで銃を捧げその冥福を祈つたのであつた

津浦線の支那軍損害
戰死傷者八萬

【天津廿三日發國通】北支戰線に師を進めて既に百日、わが軍の戰績は世界戰史に不滅の金字塔を築いたものである稀にみる敏速果敢な進擊と徹底的猛攻擊に完膚なきまでに粉碎された支那軍の損害は想像以上大なるものがある、既に判明せる敵損害は左の如し
▲津浦線方面（馬廠より德州）戰死傷者六萬、遺棄死體九千七百餘、戰死一萬數千、負傷四萬以上、鹵獲品＝山砲四門、迫擊砲十四門、重機八、輕機六十四、自動車四臺、汽車廿七輛、ガソリン五千ガロン、精米七千二百八十石
▲子牙河方面 戰死傷者二萬、遺棄死體二千六百、戰死四千以上、戰傷一萬三千、鹵獲品＝野砲四門、迫擊砲十門、重機四、輕機十九、自動車四十七臺、ガソリン五百ガロン、精米二千五百石

支那の地方財政逼迫
俸給不渡は常例
經濟的崩壞の一步手前に瀕す

【天津廿三日發國通】蔣介石は今次事變勃發以來中央集權徹底化を强行して長期抗日戰に備へんとしてゐるが、これがため地方政治に對する從來の補助は次第に減額または杜絶し、逆に中央に集中されるので各地地方財政は遂次逼迫し、官吏俸給の不渡りは常例となつてゐる、最近財政部長孔祥熙は長期抵抗をつゞける爲支那がこの種の新經濟政策をとらざるを得ないのである、國民は等しく苦痛とするところであらうが、國民はよくこれを忍ぶであらうとの談話を發表してゐるが、これと相俟つて支那側の國家財政が崩潰の一步手前に瀕してゐることを明瞭に物語つてゐる

香港から廣東へ
自動車で軍需品輸送

【香港廿三日發國通】帝國海軍が支那海軍海岸を封鎖して以來支那側は列國船舶を利用して續々香港へ武器、彈藥その他の軍需品を輸入し香港は實に支那軍に對する軍需品の一大供給源たる觀を呈してゐる、香港から支那内地へは廣九、粤漢鐵道と水路珠江との兩道があるが、水路はわが海軍の封鎖により思ふように通れず又陸上の鐵路は我陸軍の空爆により障害を受けてゐるため最近支那側は窮餘の策として英國ゝ暗默の諒解のもとに自動車數百臺を九龍方面に集結して香港へ輸入した武器その他の軍需品をこれに搭載して夜間廣東へ輸送してゐるが、最近はその數毎日二、三百臺の多さに上り當地の輸入商人間にはこれ等軍需品輸送の自動車群も今に日本の海の荒鷲の好餌となるのではないかと取沙汰されてゐる

その日く

□ 山西に、河北に、山東に、堂々進擊する皇軍の威武は壓倒的
□ この間を縫うて空駈ける荒鷲の猛擊に、更に膽驚かず敵軍である
□ 苦々しきは、香港が宛然支那への武器市場と化し香しからぬ港となれること
□ 斯くの如き植民地を持ち、而して平和を欲すとの會議を開いても何の效ぞ
□ 多辺れど天高く、肥馬いなゝいて軍〻の技こゝに示され斬風の劍道と相競ふ

人事往來

着京

▲大橋正己氏（奉天鐵道事務所長）二十三日來京國都ホテル
▲細野政男氏（會社員）同
▲廣川卯市氏（同）同
▲庄村辰氏（同）同
▲大西正弘氏（滿鐵社員）同
▲渡邊圓流氏（布教使）同
▲河村哲治氏（會社員）同向陽ホテル
▲武田淺治氏（滿鐵社員）同中央ホテル
▲廣木精逸氏（會社員）同新京ホテル
▲山根正吉氏（同）同
▲村上端光氏（僧侶）同國際ホテル
▲荒川秀次氏（官吏）同
▲谷口民熊氏（同）同滿蒙ホテル
▲松尾俊市氏（敎員）同
▲牧野廉一氏（會社員）同
▲平川辰二氏（官吏）同
▲森喜代八氏（日本鋼管）同蓬萊ホテル
▲中正人氏（商業）同
▲東宣一氏（官吏）同
▲高橋盛男氏（同）同富士屋旅館
▲水野久直氏（神職）同
▲相澤彌五左衛門氏（農業）同
▲入江武男氏（電業社員）同
▲田代安五郎氏（官吏）二十四日來京帝都ホテル
▲大石良久氏（同）同
▲石橋茂氏（辯護士）同

出發

▲松葉重隆氏 廿三日東京へ
▲中村清七郎氏 淸津へ
▲山口芳三氏 同
▲田中藤作氏 奉天へ
▲河村二四郎氏 哈市へ
▲山田覺氏 雄基へ
▲水野敏雄氏 京城へ
▲小西喜三郎氏 奉天へ
▲木原二壯氏 大連へ
▲砂田曾氏 哈市へ
▲伊藤勘三氏 安東へ
▲近藤正郎氏 大連へ
▲辻鎭鄕氏 奉天へ
▲中谷定治氏 佳木斯へ
▲坪川與吉氏 奉天へ
▲長谷川良三氏 大阪へ
▲山田利喜三氏 奉天へ
▲栁澤彌吉氏 同
▲齋藤庄三氏 哈市へ
▲秦芳太郎氏 大石橋へ
▲吉井清春氏 大連へ
▲山本辰五郎氏 哈市へ
▲兒玉正氏 奉天へ
▲門屋屠太郎氏 大連へ
▲志村悦郎氏 同
▲田邊義明氏 公主嶺へ
▲中村歳男氏 大連へ
▲尾坂恭一氏 同
▲佐藤由松氏 海拉爾へ
▲阿部國太郎氏 承德へ

秋晴れの西公園に 人馬一體の妙技

颯爽駒を馳す名手百八十騎 全滿馬術大會開幕

滿洲乘馬協會並に大滿洲帝國馬術協會主催第一回滿洲馬術大會は二十四日午前十時から新京西公園内滿鐵運動場で開催された、晴れの大會に出場の名手百八十餘騎公園原頭の白霜を踏んで堂々入場すれば會場をとりまく萬餘の觀衆拍手を以つてこれを迎へる正に空前の豪華版である、斯くて莊嚴なる開會式は開始され滿洲國側は左に日本側は右に整列日滿國歌奉唱裡に兩國々旗は兩協會選手代表の手にて揭げらる、ついで大會長呂榮寰氏本大會開催の所以、即ち滿洲產馬は世界各國が口を揃へて鐵馬と讃へる如く鐵の如き强健馬である、この鐵馬を馭する者は鐵人でなければならぬ、そのためには絶えず技術の練磨を行はなければならぬ千里を駛る名馬には千里を駛るに耐へる人間が必要だ、かゝる意味に於て本大會は最も有意義なことゝ思ふ、各選手は優勝を念頭に置かず最後迄堂々たるスポーツマンの精神を以つて闘ふことを忘れてはならぬといふ意味の辭を與へ前年の覇者撫順乘馬倶樂部から優勝旗並に優勝カップの返還あり審査委員長の競技上の注意があり小障碍連續乘越競技によつて戰の幕は切つて落され鞍上人なく鞍下馬なき人馬一體の勇壯なる競技が次々とプログラムに從つて展開された、この日來賓席に關東局三浦司政部長、産業部岸次長其他各機關代表等の顏も見え會場周圍は萬餘の觀衆で埋められた【寫眞は入場式と圍内障碍飛越へ】

不正業者殘黨に 昨夜第二次檢索

邦人七名、滿洲人卅六名擧る

阿片、モヒ等の禁制品密賣者掃滅を期して嚢に全滿に亘りこれ等不正業者の一齊檢索に呼應百三十餘名の大量を檢擧して大いに肅正の實績をあげた新京署は以來引續き第一次檢索の網を逃れ姿を晦したもの或は當局の嚴重なる取締りの目をくゞつてさらに密賣を續けてゐるたもの等の不正業者につき鋭意調査中であつたが廿三日午後十時より十二時に至る夜半約二時間に亘つて署員總出動の下に殘黨の徹底的撲滅を期し第二次檢索を實施した結果邦人七名滿洲國人三十六名計四十三名を檢擧したこれを以て新京署管内の不正業者は根こそぎ掃滅せられ今後の明朗化を期待されてゐる

名殘りを惜しみつゝ 本庄大將離京

今朝飛機て北鮮へ

溥傑上尉結婚披露宴と全滿觀察を兼ねて來京中の本庄繁大將は廿一、二日の披露宴を滯りなく終へ五日間に亘つて國都を觀察するとゝもに舊知の人々と久濶を叙し廿四日午前七時發飛行機で懷しの新京を後に一路北鮮に向つた、この日飛行場には曉を衝いて建國の父を送るべく溥傑、潤麒兩氏、東條、石原正副參謀長、吉岡、河原、片倉各關東軍幕僚、張總理以下各部大臣、星野長官、神吉、古田次長、皆川滿谷司長を初め國防婦人、婦女會有志多數の見送りあり、五郎丸秘書帶同の本庄大將は名殘りを惜しみつゝ北鮮へと向つた、なほ滿洲國政府よりは植田監察官同行したが大將は北鮮より京城に出で東京歸着は廿八日の豫定である

雛鷲の養成に 陸軍航空諸學校擴大

【東京國通】近代戰の華空軍充實のため既報の如く特に荒鷲の若雛養成に意を用ひることゝなり航空學校の新設、增强、改變を計畫中なりしが、廿三日の官報に勅令をもつて東京陸軍航空學校、熊谷陸軍飛行學校、陸軍航空技術學校の强化を發令した勅令に依る各學校内容左の如し

一、東京陸軍航空學校（市内に新設）航空兵が現役下士官を志願するもの

二、熊谷飛行學校、陸軍航空技術學校入學前基礎教育を授ける所にて就學期間は一ヶ年毎年二回入校せしめる同校は生徒の個性を充分見極め適性に應じパイロット、エンヂニアその他に區分する開校期日本年十二月一日

一、熊谷飛行學校操縱生徒は東京陸軍航空學校卒業者を充て特殊生徒に操縱候補生、パイロット候補の幹部候補生、下士官候補者を合めるまで今までの生徒隊と改稱研究部を新設、操縱の調査研究、試驗を行ひ航空氣象教育のため尉官、下士官の特殊學生を入校せしむ

一、陸軍航空技術學校東京航空學校卒業者中から生徒を選拔、毎年二回入學、二年修學、航空兵科下士官としまた地上勤務、技術勤務の幹部候補生を教育、從來の内地學生は陸軍士官學校航空分校に移す

以上二項の校令改正は十二月一日よりとす

近く滿洲國にも 調停法を發布

法制處で審議立案中

日本においては借地借家調停法、小作調停法および金錢債務臨時調停法等の調停法規が判定され、裁判によらず當事者の互讓妥協によつて係爭事件を解決してゐるが、更に近時右諸法規による解決以外に警察署の人事相談所における諸紛議の解決仲介も統計上夥しい數字を示してゐる、これ等は民事上の紛議解決方法として裁判以外に調停法が有力な效果を齎しつゝある事實を現すものであつて、その手續きの簡易な事、解決の迅速なること等の長所を有してゐる點その活用は今後益々增大するものとみられるが、滿洲國においても一方に治外法權撤廢を目前に控へ法律による權利の確保が期せらるると共に他方濫りに訴訟によつて紛爭を解決せんとする事は特に民族協和の精神を强調されてゐる滿洲國においては面白からざることであり且つ裁判の能率を擧ぐる上からも可及的に當事者間の互讓妥協によつて紛爭を解決し得る機構を整へることは喫緊の要ありとしこれが目的をもつて滿洲國では近く調停法の制定を圖ることゝなつた、右は目下法制處において審議中であるがこれには相當額の豫算を伴ふので主計處側とも愼重協議した上國務院會議にかけ早急實施を圖る豫定である、因にこの調停法の適用範圍は單に金錢問題の紛議に限らず相當廣範圍にわたつて行はんとする意向で、調停委員會の構成は委員を民間より選定し審判官がその進行を指揮することゝし當事者間に調停が成立した場合はそれに從ひ、不成立の場合は改めて裁判所に持出す段取りとなるものである

協和會國通分會

けふ結成式擧行さる

滿洲國の國策弘報機關たる滿洲弘報協會並に滿洲國通信社の在京社員を打つて一丸とする協和會國通分會結成式は廿四日午前十時半より日滿軍人會館において森田國通社長、三浦、寒河江、姚弘報協會國通各理事はじめ全社員參列、本部側より田邊首都本部長、古海中央本部指導部長、來賓關東軍柴野少佐、堀内弘報處長、笠神大新京主幹、中村滿日支社長等列席の下に嚴肅盛大に擧行された、式は定刻大西編輯局次長の開會の辭にはじまり一同最敬禮裡に回鑾訓民詔書捧讀（統鉀事）勅語捧讀（森田社長）ありたる後協和會綱領闡明（瀨沼調査部長）及び分會結成經過報告（大西編輯局次長）が行はれた、終つて分會長推薦に移り、三浦理事の提議で滿場拍手裡に森田國通社長を分會長に推擧しついで田邊首都本部長の手により森田分會長に分會旗の授與が行はれ森田分會長就任挨拶の後、左の如く分會役員の任命あり、續いて分會宣言（松本總務局次長朗讀）、分會員宣誓（大熊編支部次長朗讀）、田邊首都本部長および古海指導部長の訓辭、堀内弘報處長の來賓を代表しての祝辭ありて最後に關東軍柴野少佐の發聲で萬歳を三唱、こゝに協和會國通分會の結成を終り正午盛會裡に散會した【寫眞は結成式】

△國通新京分會役員

顧問高柳保太郎、同三浦義臣、分會長森田久、副分會長寒河江堅吾、同姚任、常務員小野敏夫、長澤千代造、實性確成、松本於菟男、伴野大造、大西秀治、外評議員十二名

燃ゆる六百の士氣

果然！劈頭から大接戰展開 全滿劍道大會始まる

大典記念第四回全滿武道大會劍道大會は二十四日午前九時より大經路小學校に於て全滿より參集した六百餘名の劍士を一堂に盛大に擧行された、早朝より應援觀衆陸續と詰めかけさしも廣大な會場も開會前すでに立錐の余地なき盛況に士氣愈よ軒昂す、かくて定刻選手役員一同入場整列日滿兩國旗に敬禮なし山田大會副委員長開會を宣し昨年の優勝大連道場優勝旗を返還し宮澤副會長の挨拶、皆川委員長の訓辭に對し中央銀行飯島驍選手出場選手一同を代表して誓言をなし審判長高野茂義範士の注意あつて入場式を終へ直ちに團體試合に入り東二組西二組都合四組一齊に熱戰の火蓋が切られた、必勝の意氣に燃えた豪俊の猛攻擊も凄く戰は一回戰劈頭より大接戰を展開してゐる、午前中の成績左の通り

▽第一回戰

（勝）		（負）
新京商業A	3—2	電々B
憲兵訓練處	3—2	新京商業B
治安部A	5—0	商業部
滿洲炭鑛	3—2	新京商業C
撫順A	5—0	日滿商事B
昭和製鋼所	5—0	内務局
經濟部	3—2	哈爾濱警察
新京中學B	3—2	興安東省
大同學院	4—1	四平街
新京市公署	4—1	海拉爾
瀋陽警察	4—1	郵政管理局
中央銀行	5—0	審計局
大連市	3—2	交通部
錦州武道會	4—1	西安炭鑛

【寫眞は第一回戰の熱戰】

農業移民に福音

十一月一日から鐵道總局が 客貨運賃を割引き

鐵道總局では社、國線の滿洲開拓鐵道としての使命に鑑み滿洲移民事業の發達促進を期する見地から今回一大英斷をもつて滿洲農業移民者に對する客貨運賃割引制を制定廿四日正式に發表、來る十一月一日より實施することになつた右運賃割引は拓務省滿洲移民百萬戶二十ヶ年計畫實現に積極的援助を爲さんとするものでこれによつて受ける總局の犧牲は二十ヶ年間に二億圓を突破するものとみられる、割引運賃の内容左の如し

拓務省計畫甲種移民に對する旅客、手荷物貨物の運賃割引を左の通り定む

一、旅客

イ、移住の際 拓務省發行の農業移住者乘車券により會社所管線内乘車ならびに手荷物托送（無賃制限超過重量に對しては五割引の取扱をなす）

但し家族は移住者の移住後三ヶ年以内に移住する場合に限る

ロ、移住民 移住後三ヶ年以内に歸省する場合には一回に限り發驛において拓務省新京出張所發行の移住者歸省割引證と引換に會社所管線往復旅客運賃の五割引とす

二、貨物

イ、移住の際 日本内地發連絡運送の引越荷物、自家用農具および農業用家畜等一世帶につき五、〇〇〇瓩（一世帶主が單獨移住後家族を招致する場合托送數量は單獨移住にあつては三、〇〇〇瓩家族は二、〇〇〇瓩を限度とし分割托送）を限り會社所管線内無賃とす

ロ、移住後 自家用の種子、肥料、農具、農業用家畜、同飼料、副業用機械、同原料、建築材料等一世帶につき三〇、〇〇〇瓩まで（十回迄分割托送可能）普通運賃の五割引

ハ、取扱種別 貨物の取扱は原則として小口扱とし數世帶共同して托送する場合には一車扱とす

なほ乙種移民に對しては從來通り旅客のみ四割引となつてゐる

今日は霜降（ソウカウ）

二十四日は年二十四節の霜降に當る、この日新京の日の出時刻午前七時三分、日の入り午後五時四十二分である

滿鐵醫院ボイラーに 模範的設備

毎年煤煙防止委員會で問題になつてゐる滿鐵醫院のボイラーは今年總工費二萬圓をもつて模範的な設備をなし二、三日中にはストーカ到着、年内には取付けを終了する筈である

あす（廿五日）

▲附屬地水道工事受付締切 ▲美術協會展、公會堂 ▲美育會小品展、寶山

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇聯隊歌（東京）▲七・四五日曜特輯ニュース演藝（大阪）▲八・一〇連續講談「雀野名槍傳」（東京）大島伯鶴 ▲八・四〇吹奏樂（東京）陸軍戸山學校軍樂隊 ▲九・〇五長城風景（奉天）山海關萬里長城附近より中繼

女給さん 第二回名所見學

女給のサービス改善の目的のために行はれた觀光協會主催第一回市内名所舊跡見學は時局柄皇軍の武運長久祈願をもかねて頗る好評であつたが、その後市内カフエーから續々と多數の申込みがあり、廿五日第二回見學團一行二十五名は朝九時出發前回同樣のコースを辿つて午後四時終了、三中井喫茶部に於て茶話會を開催することゝなつた、この企ては女給さんのみならず主人側からも是非みせてくれとの申込みがあるので、更に第三回、第四回の見學團募集をなすことゝなつた

鹿島神社のお札 本社へ寄託

いばらき新聞社石岡支局佐藤三郎氏は二十三日來京、携へた官幣大社鹿島神社のお守札二十體を本社に寄託、關東軍へ獻納した

演藝映畫

新スター登場で各社正月映畫番狂はせ

守田勘彌、澤村田之助ら梨園の人氣スターの映畫入り、林長二郎の東寶入社等で新春封切の時代劇映畫は兩社とも番狂はせを演ずることゝなつたが松竹では新春劈頭を飾る映畫として衣笠貞之助監督、守田勘彌主演『雪之丞變化・闇太郎ざんげ』第二彈は好太郎と浩吉の顔合せ映畫と決定、東寶の林長二郎入社第一回作『源九郎義經』は年内に封切られ地方館の新春封切映畫とすることゝなり新春劈頭映畫としては目下企畫中であるが第二戰として大河内主演『でかんしよ侍』を内定したまた日活では千惠藏、阪妻顔合せ映畫に次いで千惠藏主演『木村長門守』を封切する、新興では第一週に市川右太衛門主演『荒木又右衛門』後陣に山田五十鈴主演『靜御前』を据る事と内定してゐる

問題の映畫「ヨシハラ」三映社に入荷

日本を題材とした外國映畫として曩に『旅順港』が公開されて好評を博したが更に豫て製作中侮日映畫として問題を起したモーリス・デコブラ原作の佛ミロル作品マックス・オフユール監督田中路子、ピエール・リシヤール・ウイルム早川雪洲主演の『ヨシハラ』が題名もヒロインに因んで『小花』と改めて三映社に入荷した、これは我が國の嚴重抗議によつて中途から製作態度を改め完成後も內山駐佛代理大使をはじめ陸海軍武官の鑑賞を乞ひ諒解を得た結果、侮日映畫に非ずと折紙を付けられた爲横濱稅關をも無事通過したものだが、三映社では日本版に着手と共に封切題名を考慮中である

滿洲より北支へ 來春東寶のレヴュー

【大連國通】先般北支滿洲を視察した小林一三氏の發案により東寶では滿洲北支の眞の姿を日本の母たる女性に認識させやうと目下、岸田文藝部長がシナリオを作り「滿洲より北支へ」（假稱）と題し三十景の大レヴューを創作中で來春東京大阪において興行するに決定した

好太郎・嘉子の初コンビ「お靜禮三」開始

松竹京都がシーズン劈頭に放つた「流轉」に次ぐ坂東好太郎の新作「花吹雪・お靜禮三」は九月の東京歌舞伎座に於て猿之助水谷八重子のコンビで上演好評を博したものだけに好太郎、岡田嘉子の初顔合せになる映畫化も頗る期待を以てみられてゐる左のスタッフキャストを編成し九日の入洛を待つてクランクを開始した、因みに岡田嘉子の松竹時代劇出演は「一本刀土俵入り」（林長二郎）「天保安兵衛」（市川右太衛門）「初姿出世街道」に次いで今回が四回目である

旅順港

△旅順港△ 佛チエッコ協同ヌラヴイヤ映畫、ダニエル・ダリュウとアドルフ・ウオールブリュックの顔合せする戰爭映畫 明治卅七年の旅順、日本人を母とする日露混血兒ユキはロシア將校ボリスと結婚した、日露兩國の間に戰端が開かれユキは祖國と恩愛の情の板挾みとなつて小さい胸を苦しめねばならなくなつた、やがて夫の祖國は敗れた、ユキの行くべき途は……ユキにはダリュウ、ボリスにはウオールブリュック、これにユキの兄で日本の軍人岩村大尉ジヤン・マックス、露國情報部長シヤルル・ヴアネルなどが助演者として綵り彩を添へる、監督はニコラス・フアルカルッシュ、原作はピエール・フロンデエ作小說である、帝都キネマ廿九日封切

雜音

豐樂劇場「海の魂」は初日金曜日に次ぐ土曜日二日目は果然近來に見ない大入りを見せた、晝間から客足切れず夜に入つて愈よ客足を詰めた▼クーパー、ラフトの顔觸れの大衆性とエンタツ、アチヤコの夫々二役主演もの、興味であらうが、も一つこれで見納めといふ悲喜交々の觀客心理も有利に働いた、滿映さんあたりの商品とするならば正に唾液ものだらうが、ホンにまゝならぬ▼長春座の「湖上の靈魂」「治郎吉唄ざんげ」も好調らしい

以前に或る新聞社の支社であつた家、一夜のうちに赤い屋根瓦を突き出し壁を白く塗つて四角な乳白色の看板電燈を掲げた、酒場オリエントこれである「歴史は夜作られる」といふのはまさに此の事であらう▼そのオリエントにたむろする女軍の一人に、先刻諸君御承知のセイ子クンがある、つい此の間までイナリにゐたのだが、これは「昨日は東、今日は西」といふわけなのであらう▼話變つてモンテカルロ新人のなかに新川ボーヤクンを見出す、新京會館時代から數へればもう古顔の方であるがあのあどけなさに變りなくやはり新人の名稱で呼ばれて良からう、これは「坊や歸る」と題することにする

月曜 乙酉 赤口 閉 危宿

●一白の人 滿山紅葉の錦を以て飾られし如くに美々しい 乙と丁と乾が吉
●二黒の人 家事は程好く采配を振ひ他事に心移りすな 丁と辛と癸が吉
●三碧の人 身心を落付け一意家業に勉むべき日移轉凶 甲と乙と申が吉
●四綠の人 家業益優勢を加ふべき日羂繳大に加はらん 甲と乙と申が吉
●五黄の人 人の爲めに盡せば大に功あり自分事は失敗 庚と壬と艮が吉
●六白の人 面倒なる事の起り勝ちにて一向埒開かぬ日 乙と辛と壬が吉
●七赤の人 誹謗を受け擯斥せらるゝ行動を戒しむべし 丁と庚と丑が吉
●八白の人 自他共に苦境に立つべき日共同事には注意 丙と申と癸が吉
●九紫の人 小春日の和やかなる氣分に浸るが如く平穏 申と辛と癸が吉

青春の宿

須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫　（映畫上映）

（一九）

この感情（六）

『まあ——あんたが、働くんですつて？——』

耀子は、驚いたやうに目を見張つた。讓治の眞劍な表情をみると、次第に面をかゞやかしていつて

『それは、本氣で云つてるのね、ほんさうに、働きたいつもりなのね』

『本氣です——ほんたうです……』

『いゝわ。あんたが、そのつもりなら、お父さんに、お願ひしてあげるわ……さう、早い方がいゝわね——ぢや、兄さんに、すぐ話してあげるわ……ちよつと、待つてゝね』

耀子は、椅子をはなれて、兄の室につゞくドアをひらいた。

『兄さん——ちよつと、お話しがあるのよ……こつちへいらつして下さいな』

『なんだね——』

銀藏は氣輕に立つて、會釋する。

『紹介しますわ、この方、さつきの千鶴子さんの兄さんで、わたしのお友達の峰島讓治さん——讓さん、これが、わたしの兄で、こゝの庶務課長よ……』

『峰島と申します……よろしく』

『林田です——』

銀藏は、眼鏡ごしに讓治を眺めまはしてから、椅子について

『何んだ、話といふのは——』

『あのね——』

耀子は、甘えるやうな笑顔を作つて

『讓治さんが、こちらで、働きたいとおつしやるのよ、わたし、いゝわつて、お引受したんですけど……いゝでせう——』

銀藏は、もう一度、讓治を眺めまはしてから

『僕はいゝと思ふが……一應人事課長に訊いてみよう』

『きくつて、なにをきくのよ……』

『缺員があるかどうかだ——』

『缺員はあるぢやないの——いま會計課長を馘にしたばかりだから、その代りにはいつてもらへば……ねえ、讓さん、あんた、會計課長でもいゝでせう——』

讓治と、銀藏とは、思はず微笑した眼を見合して

『はゝゝ、耀子は、あひ變らず非常識なことをいふね……いくら人材でも、はじめから課長になつてもらふわけにはいかないよ——』

『さう——では課長でなくてもいゝから……』

銀藏は、讓治に向つて

『失禮ですが、おいくつですか』

『二十五です——』

『お生れは……』

『兄さん——』

と、耀子が、口をはさんで

『讓さんは、川の丸百貨店の初代社長の息子さんなのよ』

『さうか——』

銀藏は、親しみの加はつた語調で

『それでは申し分がありませんから出來る限り、こちらで働いて頂くやう、人事課長にもすゝめますが……失禮ですが、俸給はどの位お望みでせう……將來は別として初めから、さう出せないのですが……』

『なるべく、たくさん、あげて下さいな』

と、かたはらから、忘れずに耀子が口をはさんだ。

讓治が、大關西電力の庶務課に勤務するやうになつてから、五日ほどたつた土曜日の午後——

そろそろ、退社時刻のせまつた時分に、讓治は、電話口によびだされた。

『もしもし、峰島ですが……』

『讓さん？——わたしよ。わかつて？』

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 ③二三二五 營業局專用 ③三三〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

上海戰線總攻擊・江南の天地震撼

大場鎭、江灣鎭を猛攻

敵全線に亘り遂に總くづれ

【上海廿四日發國通】軍報道部廿四日午後一時半發表＝軍は本月六日及び七日の間蘊藻濱クリークを越えて南進を開始し爾來到る處頑強な敵陣地を突破しつゝ果敢な攻撃を繼續し、各方面の要點を奪取、廿三日早朝來大場鎭、江灣鎭に對する總攻擊を實施せり、敵はわが猛攻に堪へかね廿四日朝遂に全線崩潰退却するに至り、死をもつて軍は空陸相呼應して猛烈にこれを急追し西方及び西南方に向ひ驅追中

【上海廿四日發國通】廿四日午後二時艦隊報道部發表＝海軍航空隊は總退却中の敵軍を一擧殲滅すべくその全力をあげて陸軍に協力し追擊爆擊を敢行中なり

海、陸荒鷲部隊の爆擊戰

壯絕の限り、敵死傷算なし

【上海廿四日發國通】海軍航空隊は廿四日午前九時より陸軍部隊と相呼應し上海戰線の敵に全面的總攻擊を行つたが、この攻擊に參加した延機數は實に〇〇〇臺を突破、世界戰史上未曾有の空中爆擊戰を展開、壯絕を極めてゐる

【上海廿四日發國通】二十四日午後二時卅分海軍航空隊は又も全力をあげて總攻擊を開始し待機中の敵大部隊に對し低空飛行の機銃掃射および爆擊を行ひつゝある、この日上海戰線上空は海の荒鷲と陸の禿鷹群に完全に制壓され江南の曠野は爆彈の炸裂の轟音に震撼して濛々たる黃煙戰場を蔽ひ敵の死傷は想像以上の多數に上つてゐる模樣である

北支戰線の活動

(上)延燒中の敵陣へ突入せんとする皇軍 (下)平漢線鐵路に沿ひ敵を追擊南下するわが精鋭〇〇部隊(〇〇附近にて)

遠藤侍從武官を第〇艦隊に御差遣

【〇〇廿四日發國通】吉田中將の統率する第〇艦隊ならびに〇〇要港部附屬第〇〇驅逐隊將兵御慰問のため畏き邊りより御差遣の侍從武官遠藤大佐は驅逐艦〇〇に搭乘、廿二日〇〇の沖合に到着、旗艦〇〇において吉田司令長官に對し聖旨を傳達第一線海上部隊慰問の後同日午後一時再び軍艦〇〇に移乘、通雲港一帶の南方警備線を視察、ついで威海衛、芝罘、登州方面北方警備線の封鎖狀況および對岸の情況を艦橋より双眼鏡をもつて熱心に視察、廿四日午後二時〇〇基地に入港したが第〇艦隊將兵一同は聖恩の厚きに感泣してゐる

敵最後の據點に大火災を起す

大橋梁爆破退路斷つ

わが陸戰隊ではこれに對し猛烈なる砲擊を行ひ、浮足立つた敵軍に多大の打擊を與へつゝあり

閘北の敵動搖す

【上海廿四日發國通】閘北の敵は大場鎭方面の總退却により非常な動搖を來してゐるが

【上海廿四日發國通】敗走する敵が最後の據點とたのむ〇〇〇は、廿四日午後四時すぎ大火災を生じ黑煙天を蔽ひ目下盛んに延燒中

【上海廿四日發國通】松江の大橋梁はわが海軍機の爆擊に遭ひ破壞され敵の退路は斷たれた

敵沈家口を拋棄

【劉家口廿四日發國通】わが〇〇部隊の猛攻擊に浮足立つた敵は廿日堅陣沈家口を拋棄したが、廿三日來のわが猛攻の結果今朝來一齊に後退を開始し、わが軍は空陸相呼應歩砲兵の火力を最大限に發揮し急追中で敵の死傷算なく大場鎭附近の敵主力は大混亂に陷つてゐる

〇〇〇東北角を奪取

【上海廿四日發國通至急報】猛攻追擊をもつて敵を南方に驅追しつゝあつた〇〇、〇〇兩部隊は、廿四日夕刻遂に〇〇〇東北角を奪取した、市外東方および南方の敵はなほ頑强に抵抗を續けてゐる

江上艦艇江灣鎭を砲擊

【上海廿四日發國通】廿四日江上艦艇は軍の作戰に協力、江灣鎭西部その他を砲擊した

谷村少佐戰死

【北京廿四日發國通】去る十四日早朝〇〇高地の砲兵觀測所において觀測中であつた綏本部隊の谷村毎馬砲兵少佐は敵約四百の襲擊をうけたが、少佐は十四名の兵を指揮して交戰約一時間の後敵を敗走せしめ觀測所を死守した、この戰闘で谷村少佐は頭部に重傷を負ひ〇〇野戰病院に入院してゐたが、廿日午後つひに折口鎭の華と散つた、同少佐は高知縣の出身で、代縣城一番乘りを行ひ全軍に武勇をとゞろかせた勇士である

谷川部隊復旦大學を占領

【上海廿四日發國通】軍報道部午後六時發表＝(一)わが南進する第一線は本日午前中に大場鎭西方走馬塘クリークの線に進出し、さらに當面の敵を南京及び西方に向ひ急追中にして、その左翼方面においては北方より大場鎭に肉薄しつゝある(二)谷川部隊は今朝來復旦大學を攻擊し、午前十時頃同大學を占領し、續いて江灣鎭の敵に對し猛攻中なり

復旦大學一番乘り

第一線部隊長激戰語る

【上海廿四日發國通】〇〇〇部隊の〇〇部隊は堅固な復旦大學の校舍を利用、頑强に抵抗を續けてゐた敵を擊退、廿四日朝九時半これが中央〇〇〇にある旗桿高く日章旗を掲げ歡喜の萬歲を三唱した、記者は占領後間もなき硝煙の臭ふ復旦大學を訪ねた、後方のわが砲兵陣地よりは盛んに〇〇〇を砲擊しつゝある、土嚢のかげから見ると一發一發命中し、敵が觀測所として利用しつゝある〇〇〇の〇〇〇はだんだんと破壞されてゆくのがよく見える、一天雲なく晴れわたつた秋空にはわが航空部隊の荒鷲が爆音高らかに旋回飛行を行ひつゝある、やがて地から湧き出るかの如き爆音が地響きと共に聞えて來る飛行機の爆彈投下だ、頭上をかすめて飛び行く銃彈を避けつゝ目的の復旦大學にたどりつく、廿四日朝まで敵の青天白日旗が掲げてあつた復旦大學中央の旗桿にはわが日章旗が秋風に翩翻と飜つてゐる、見上げる記者の眼頭には自然と熱と歡喜の淚があふれ出てくる大學の校舍は砲彈、爆彈で屋根も壁もガラスも大損害を受けてゐるが、火災を免れてゐるので使用にたへる程度の損害だ、復旦大學一番乘りの勇士〇〇部隊長を第一線に訪ねると左の如く語つた

今朝進擊命令を受けたので午前六時廿分進擊を開始したが、敵は復旦大學附近の家を占領してをり、重機五挺、輕機九挺を有して盛んにわれわれに猛射を浴せたが、浮足立つた敵の射擊標準は不正確で、わが軍はこれをものともせず前進に前進を續けて進擊すれば敵は遂に退却を開始した、時は來れりと午前七時過ぎどつと決死の覺悟で復旦大學に突入した、この時學校内に尚少數の敵が殘つてゐたが、わが軍は大した抵抗も受けず大學全部を占領、午前九時半校内旗桿高く日章旗を掲げどつと萬歲を三唱したが時は全く何ともいへぬ氣分であつた、わが軍は命令により更に前面の敵を攻擊中だ

邀擊の敵三機を擊墜

漢口に曉の猛爆

飛行場忽ち紅蓮の炎に包る

【〇〇基地廿四日發國通】わが軍渡洋部隊の鷲〇〇機は大杉、檜貝、森の三大尉、日高中尉等指揮の下に朧月夜の困難なる情況をものともせず漢口に夜襲を決行し廿四日午前四時頃漢口上空に達し第三次漢口大爆擊を敢行した、わが渡洋部隊急襲の報に敵戰闘機は漢口上空に待機し、われを邀擊せんと試みたがわが航空部隊は忽ち敵戰闘機三機を擊墜して悠々漢口飛行場格納庫および待機中の敵數機に爆擊を加へ格納庫は大火災を起した、紅蓮の炎は曉の空に冲しわが夜襲部隊は成果を收めて無事歸還した、敵は去る十九日のわが空襲部隊の急襲により殆んど全滅したらしく僅かに數機を認めたのみであつたが、これもこの夜襲により爆燒し去り同地方の敵空軍は全く潰滅した、なほ同部隊の石大尉、原田中尉は精鋭〇〇機を率ゐて二十三日午後六時頃江西省の南昌を襲擊し挑戰して來つた敵戰闘機二機を擊墜し停車場倉庫を爆破さらに南潯線の大鐵橋を爆破しその三分の一を粉碎し全瀕〇〇基地に凱歌を擧げた

大編隊空爆行(中間地區 山西東部)

【天津廿四日發國通】わが〇〇機は二隊に分れ廿三日午後二時相前後して中間地區の要地區滿及び大名を空襲し、敵の集團部隊を粉碎した、大名に大名城内廣場に密集せる乘馬の大部隊及び城外西側に構築された敵陣地に投彈、これにたへぬほど大破せしめ、更に最後の掃擊を加へ、使用は運河々畔の要地及び臨清を空襲し、敵兵營を爆擊し、返す力で附近運河上に集結せる輸送船五十餘を悉く爆沈せしめ中間地區の敵に大打擊を與へた

空襲隊は先づ先般の襲擊によつて中壞した飛行場及び格納庫に最後の爆擊を加へ、これをふきとばしながら敵の一部へた

【天津廿四日發國通】山西省

娘子關北方の省境高地を占領

【天津廿四日發國通】天津軍司令部廿四日午前十一時發表＝正太線方面におけるわが部隊は廿三日娘子關北方一里省境の高地および桃園南方一里の高地を占領せり

南京空爆 敵一機を擊墜

【上海廿四日發國通】二十四日正午わが渡洋精鋭部隊は長驅南京に飛び大校場飛行場及び地上軍事施設に猛烈なる爆擊を敢行、また南鄉大尉指揮の〇機はこれと相呼應して南京郊外の軍事機關に巨彈をあびせた、また迷ひ來つた敵のノースロップ一機を發見、半月ぶりに空中戰を演じてこれを擊墜せしめ全機は凱歌をあげ悠々無事歸還した、南鄉大尉は語る

正午すぎ逃げ遲れた敵ノースロップ一機が迷ひ來つたのを加藤、塞河江(北海道出身)が發見、内藤、宮崎菅井、萩原一等航空兵の各機がよき獲物とばかりこれを地上すれすれまで追ひつめて猛擊を加へ敵機はついに南京郊外に火をはいて墜落したものだが、この日南京市内は全く沈默し、地上部隊の反擊も殆どなかつた

豐樂鎭驛占領

【天津廿四日發國通】右翼遠山部隊、左翼石黑部隊の渡河に續き森田部隊は廿三日午前十時頃困難を極めた京漢線鐵橋上を渡河、先頭部隊は正午豐樂鎭驛を占領し驛構内にあつた裝甲列車を鹵獲した、引續き各部隊も續々渡河しつゝあり、敵は漳河の線を完全に拋棄し南方彰德に向け敗走しつゝある、なほ石黑鐵道部隊は直ちに破壞された鐵橋修理を開始したが、中流に橋桁二つが落ちてをり相當難工事である

東部省境華津關及びその南方新關の線にあつて執拗に抵抗を續ける敵陣地を粉碎し、その後方を攪亂すべく廿三日正午島田、島田、上田、中富各部隊は〇〇機の荒鷲大編隊をもつて大擧出動、先づ中富部隊は峻嶮な敵の山岳陣地に猛然襲ひかゝり、冒險的爆擊をもつて山腹にある要害を誇る敵陣地を破壞すれば、上田部隊が〇〇機もその後方の堅陣娘子關を狙ひ、敵密集地區に果敢なる掃射ならびに大爆擊を敢行する、その間島田、島田兩部隊は長驅正太線中間の要害平定、陽泉における鐵道機關、兵營及び附近の敵密集地區に對し爆彈の雨を降らせて敵を壞滅狀態に陷らしめ各隊全機無事歸還したが、既に動搖氣味であつた該方面の敵全線はこの爆擊により一段と浮足立ち全線漸々われに有利に展開しつゝある

鳳凰店、馬家務を占領

【天津廿四日發國通】天津軍司令部午後四時半發表＝陜縣附近に進出せる赤柴部隊は廿三日午前九時半鳳凰店を、同午後一時半馬家務を占領せり

韓復榘の廿九師

黃河を越えて北上

【天津廿四日發國通】廿二日陵縣を占領した赤柴部隊はさらに東南に前進して廿三日午前九時鳳凰店を、午後一時半馬家務を占領した、擊破された敵は曹福林廿九師の八十七旅で、わが猛擊に追はれて徒駭河南岸に敗走しつゝあるが對日決戰の肚を決めたと傳へられる韓復榘は麾下の精鋭廿九師を總動員し數日前より大黃河を越え西方より北上、商河、臨邑城の線を連ね徒駭河の急流を挾んで廿里の戰線を布いてわれを邀擊せんとしてゐたが、その前衛陣地はわが軍の猛擊に遭ひつぎつぎに蠶食され、また空軍の連日にわたる活動にこれら諸陣地及び陣兵站地點を猛爆されるに及んですでに黃河以北の敵陣は敗色濃厚となり、皇軍が黃河以北の山東平原を確保するのも間近に迫つてゐる

ベルギー内閣總辭職せん

【ブリユッセル廿三日發國通】ベルギー内閣はヴァン・ゼーランド首相がさきに副總裁だつたベルギー國立銀行の不正事件を繞つて從來幾度か危機を傳へられたが、右翼各派の首相に對する個人的非難が依然執拗に繼續されてゐるので廿四日の國務會議で内閣はいよいよ總辭職を斷行するのではないかとみられる、九ケ國會議を目前に控へ主催國たるベルギー内閣の辭職問題は各國の注意を惹いてゐる

綏遠親日紙で蒙疆日報刊行

【綏遠廿三日發國通】舊軍閥の愚民政策の一として又常に排日の先鋒だつた傅作義機關紙綏遠日報は皇軍の入城とゝもに廢刊されたが、今回蒙疆治安維持會の手により蒙疆日報と改稱し、親日滿を標榜し廿三日第一號を刊行正確なるニユース報道に乘出した

日本文化宣傳に水野梅曉氏來京

日本に於ける權威ある支那通として知られてゐる水野梅曉氏は、この度國際文化協會の依賴を受け日本文化宣傳の爲來滿二十四日午後六時廿分着「あじあ」で着京ヤマトホテルに投宿した、氏は二、三日新京に滯在日滿各要路の人々と會見の後北支那に赴き日本文化の宣傳をなし同文會の支

人事往來

▲松浦要氏(奉天總領事館)二十四日來京帝都ホテル
▲金丸謙一郎氏(滿鐵社員)二十四日來京ヤマトホテル
▲尾坂一左氏(會社員)同
▲水野梅曉氏 同
▲染谷保藏氏(盛京時報社長)同
▲三田文一郎氏(會社員)同
▲坂静雄氏(京大教授)同
▲大石種太郎氏(技師)同
▲北林惣吉氏(哈爾濱セメント常務)同國都ホテル
▲奧村慎次郎氏(哈市交易所)同
▲筒井常氏(會社員)同
▲吉川正夫氏(大興公司)同
▲田中茂太郎氏(商業)同
▲柴谷保藏氏(安東金融合作社)同向陽ホテル
▲蜷生彌治郎氏(營口商業會社長)同
▲栗林德氏(商業)同

社說

今次事變以來我航空軍が粉碎した敵機の數は本月廿日までに三百六十五機に上つてゐる▼日割計算にすると一日三台餘づゝ粉碎したことになる、それに對し我方の損害は四十餘機といふからその比率は四十對三百六十五といふ事になる▼この記錄は人類航空界始まつて以來の記錄であり世界戰史に未だ見ざるの驚異的事實である▼その荒鷲部隊の活躍により金城鐵壁を誇つてゐた上海前面の敵は二十四日から總退却を開始した▼一方京漢、津浦兩線を南下中の皇軍は[illegible]

極東事態に對する米國輿論冷靜化
＝言論機關も鳴りを沈む＝

【ワシントン廿二日發國通】日支紛爭に對する米國の輿論は日支紛爭に對する米國の輿論は露意判明と共に數週前に比べて著しく冷靜となり、言論機關もこゝ數日は極東紛爭のニユースをあまり掲載しなくなつた、廿二日國務長官は新聞記者との會見で「日支問題に關して質問は一つも出ず」これは事變勃發以來最初の記錄であると述べ、かく輿論が極東事態に對する關心をそがれた原因として左の如く述べた

一、日支問題が一應卅日からブリユツセルで行はれる九ケ國會議に移牒された如き感があること

一、南米において航空切手問題をめぐるニカラガ、ホンジユラス兩國間の係爭が再燃惡化したこと（ニカラガ政府が愛國切手にホンジユラスとの紛爭の種となつてゐる國境區域を自國領としてゐるため）

一、最近の株式市場動搖は全米經濟界に衝撃を與へ一方には不況時代再來の漠然たる恐怖さへ見受けられ、米然に大統領の善處を要望する機運濃厚となりつゝあること

“自ら窮地に陷る聯盟の番犬”
フ共和黨議員政府を論難

【ワシントン廿二日發國通】ニユーヨーク州選出共和黨下院議員ハミルトン・フイシユ氏は廿二日ラヂオを通じて現政府の極東政策を痛烈に非難して次の如く述べた

米國政府は國際聯盟決議を容れて九ケ國條約會議に參加することゝなつたが、その結果聯盟に忠義だてしてその番犬となり、制裁を目的とする戰爭に捲込まれ拔き差しならぬ窮地に陷らぬやう充分警戒せねばならぬル大統領、ハル國務長官、ノーマン・デヴイスの三氏は今なほ國際主義にとりつかれてゐる國際聯盟三銃士である、ル大統領は侵略國の決定權を獲得せんとしてゐるが、大統領にそんな權利を附與すれば米國を戰爭に導いたも同然である

忻口鎭の敵軍大打擊うけ後退

【天津廿三日發國通】閻錫山の金城湯池山西省太原にいま一息忻縣平野の前方忻口鎭附近の天嶮に無數の援兵壕を掘つて執拗な抵抗を試みつゝある敵は約十五ケ師內外、中央軍に共產軍、百廿、百廿九ケ師を混へてこゝを先途の守備陣を張つてゐるが、十三日以來のわが方の猛擊に敵は殆んど再起不能の打擊を蒙り敵九軍長郝夢齡、第五十四師長劉家祺は枕を並べて戰死し旅長以下多數の幹部將校何れも死傷する狀況で、敵は漸次滹沱河岸の後營陣地に後退するとともに逐次中央軍の增援を求めつゝある、精銳無比のわが長野、大場、栗飯原、後藤、猪鹿倉の諸部隊は眼下に忻縣盆地を目前にして士氣ます〳〵旺盛である

考慮中なる旨示唆しに、理由は明かにされてゐない

井陘南方迂回の敵部隊を攻擊

【井陘廿三日發國通】娘子關附近に蟠居する敵の一部山西軍の第一線部隊は小癪にも娘子關南方より迂回し廿二日井陘南方八キロ張家井附近に進出し來つたので、わが〇〇部隊は廿三日早朝より南方に展開これを攻擊中である

支那の實狀を認識せよ
須磨參事官、米國民に呼び掛く

【クリーブランド廿二日發國通】須磨參事官は廿二日午後五時から外交政策協會クリーブランド支部主催の時局問題講演會に臨み、多年支那在住の經驗を基礎として支那の實狀を說明した上、今回の衝突に至つた原因と日本の眞意を闡明し、日支兩國關係は將來必ずや改善すべきを期待する旨を述べ聽衆に多大の印象を與へた、ついで外交政策評議會主催晚餐會に出席同樣趣旨の演說を行つたが、演說の要旨は左の通りである

支那の實狀は一般米國人の思ひ描いてゐる支那なぞとは全く異つたものである、西歐諸國の權限のためにも支那の利益のためにもこの際西歐諸國が左樣な非實際的且つ誤れる十字軍の野望を起さぬ事が望ましい、現在の支那に必要なものは法と秩序である、日本にとつての問題は自國民將來の安全と福祉である、ル大統領の言葉を引用すれば日本こそ東部亞細亞における平和を求めてゐるのである、要するに日本の求めるものは何れの方面においても脅威なくして生存する權利である、又わが勢力に對する公正なる報酬の權利及び對支通商貿易の權利である、即ち在支日本人の生命財産が不斷の危險を受けることなくその國民から物資を受け支那國民が日本品を得ることである

九ケ國會議
十一月三日に延期か

【ブリユツセル二十三日發國通】九ケ國條約會議は目下のところブリユツセルで來る卅日開會されることゝなつてゐるが、ベルギー外務省當局は十一月三日まで開會の延期をつけてゐる

山西モンローも破れ共產軍の橫行

【天津廿三日發國通】激戰の巷となつた山西省は今や山西モンロー主義はおろか完全に共產軍の藥籠中のものとなり戰線到る處に赤化宣傳ビラが撒布されてゐる有樣で、各部落は支那軍の掠奪と拉致のため殆んど廢墟に近いさびれ方である、共產軍の編成も立派に赤軍の方式を模倣したもので一個小隊百名中十名は指導員であつてその一部は所謂政治將校であり、軍隊の共產主義政治敎育を擔當してゐる、裝備は自動機關銃を有してをり、兵士は支那軍と變らないが幹部は全部襟に赤色の徽章をつけてゐる

六通しか掲載せず、國民の敵摘發の諸軍大記事を有耶無耶にし、又某國間諜摘發

ソ聯の內政紊亂
極東地方黨書記長糺彈さる

極東露領におけるソ聯當局の反革命派に對する糺彈は熾烈を極め最近にもシベリア方面で四十五名銃殺され、又ウクライナ地方においても家畜妨害の廉で五名死刑に處せられるなど人心の不安はその極に達してゐるが、この一例として最近ハバロフスク市黨集會席上でなされた極東地方委員會書記スタツエヴイチ氏の「テイオケアンスカヤ・ズヴエズダ」紙編輯事務につき極東地方委員會書記長ヴアレイキス糺明報告はこの間の事情を如實に物語るものとして注目される、すなはち眞報告中に同氏の政治的忠誠を疑ふとして概要左の如く述べてゐる

極東地方委員會事務局は既に印刷部員十三名および出版部員十名を放逐したが、更に反ソ的行爲繼續され、同編輯部宛反ソ分子に關する報告の書輸一萬三千四百九十三通の中僅か三百六十の折も掲載せず、これらは黨地方委員會の職務怠慢に基因するものである以上の如くかゝる席上で黨書記長が公然と糺彈されてゐるのは最近のソ聯政府內政狀態が如何に動搖紊亂を極めてゐるか推察せらるゝのである

イルクーツクで
反ソ分子列車顚覆を企つ

廿三日哈爾濱驛着國際列車でベルリンよりシベリア鐵道經由で着哈した旅客某氏の語るところによれば、廿日眞夜中シベリア鐵道イルクーツク西方（半日行程）附近を東方に向け驀進中旅客列車は突如轟然たる大音響とゝもに脫線し危く顚覆を免れたが、極度に狼狽した取締官憲當局は原因調査の結果、政府の虐政に反感を持つ反ソ分子の企圖せる襲擊陰謀と判明し犯人檢擧に躍氣となつてゐる模樣であるなほ右事件のためモスクワ發國際列車は一時立往生となり滿洲里着は十五時半の延着となつた

軍閥の壓迫に朝鮮行きを熱望
支那人の窮狀訴ふ通信

【京城國通】支那事變の發生と伴つて朝鮮より歸國した支那人より在鮮支那人に宛て本國の窮狀、政府の暴壓等を訴へる通信が盛んに寄せられてゐるが、これ等を綜合すると朝鮮は事變發生後においても何等の變化なく手厚き官憲の保護の下に安住生業に從事し得たに反し、本國は諸物價は騰貴し、青年は强制的に徵兵せられ、又所有財産は徵發せらるゝ等全く塗炭の苦しみを嘗めてをり再び朝鮮に歸り生活の安定を得んと希望してゐるものが非常に多いことは注目すべきで、今これ等の通信文からの主なるものを示せば左の如くである

一、食糧は暴騰し現在白米一斗六圓、小麥一斗六圓五十錢、唐黍一斗六圓、石炭は三割高で、その他のものも殆ど三割昂騰し、取引は一切現金である、從つて貧乏人の生活は勿論富者といへども困惑してゐる、商人は强制徵兵および所有財産の徵發を免れんとして奧地に逃避するもの多く、軍人として徵集せらるゝは十八歲以上四十六歲以下父子兄弟幾人にても年齡內にあるものは致方なく徵集せらるゝ徵集軍人は第一期として初め十五日間練兵場において午後三時より同七時頃まで每日四時間訓練せられてゐる（山東省發信）

二、本國における民心の動搖はその極に達してゐる、鮮內その他海外より歸來した者數千名に達し、何れも再渡鮮の意思あるも乏て支那稅關において嚴重差止め如何ともすることを得ず、途方にくれてゐる（山東省發信）

三、支那事變勃發直後歸還したるも今は後悔してゐる、本國に引揚げて見ると絕對安全なる保護の下にありし朝鮮が遙かに住み心地がよい、再び渡鮮したし、適當なる就職口を周旋して欲しい

四、先月から中央政府において廿歲以上の青壯年を强制的に徵兵しその數百名に達した、御身も今歸國すれば必ず徵兵せらるゝ心配がある、母は御身が幸福の地にありその國の保護を受けてゐることは實に天祐だと思ひこれ以上の喜びはない、何卒日本の退去命令あるまでは周章狼狽せず自重して業に勉めもし退去命令ありたる時は速かに通知して下さい（山東省發信）

コミンテルン撲滅の市民大會開催
全滿戰線に呼應、哈市起つ

協和會哈爾濱市本部ではソ聯を樞軸とする國際共產黨の東亞攪亂侵略並びに最近頻發する在ソ滿鮮蒙古人の虐待事件に鑑み躍進滿洲帝國における民族協和の大精神とその威力をもつて積極的排共國民運動を展開し頑迷なる共產黨の暴狀を內外に暴露するとゝもに反共戰線の强化擴大を圖り併せて民族協和の具現を達成するため全滿に相呼應し來る廿七日排共大會を開催、「人民の敵」第三コミンテルン撲滅の火蓋を切り十一月七日のロシア革命記念日まで長期戰術をもつて東亞の一角より全世界に向つて警鐘亂打し世界永遠の平和確立に邁進することゝなつたが、排共大會實施事項は廿二日全分會代表會議の結果左の如く決定した

一、排共大講演會
日人側　廿七日午後七時、於民會公會堂、哈日民會共同主催、商議後援
鮮人側　廿七日午後七時、於道裡商會
滿人側　當夜開場中の映畫館四、舞臺一にて約三十分宛講演をなしビラを撒布す
露人側　廿七日午後七時、於俄僑學校、音樂又は映畫を併用し講演會、白系事務局、ウレミヤ社共同主催

二、自習課題
左記課題により各分會より論文を募集し各語別優秀作五名に記念品を呈す
イ、共產主義の民族政策
ロ、支那國際共產黨
ハ、國際共產黨の東亞攪亂策

三、十一月七日までに市公署本部に提出
學校における排共訓練　二十七日日滿各學校一齊に排共講演をなす

四、放送　二十六日午後六時三十五分一章市長
二十七日新京より中繼

五、映畫　各映畫館において排共幻燈を映寫する

六、ビラ、ポスター、標語、ツーレン音樂自動車隊をもつてビラを撒布する

五族協和の威力で排共の目的貫徹
吉林でも時局講演會開催

東亞攪亂侵略に活潑なる運動を逞うし更にソ聯在住の滿ソ人に言語に絕する殘虐を敢えてする國際共產黨に對し五族協和の威力を以て排共國民運動を展開すべく吉林省協和會本部が主催となつて廿七日排共戰線の强化擴大と民族協和の具現を期して午後七時より第一會場公會堂、第二會場民衆運動場の二ケ所で大迫特務機關長の講演をはじめとし日系、滿系、鮮系及び白系露人の各代表が參加して講演大會を開催、更に日滿兩軍の武運長久を祈願、決議文を各關係方面へ發送して目的達成に努める筈である

延吉の排共大會

東亞和平擾亂の元兇人類の敵共產黨を排擊せよの聲は今や世界の常識となつたが、來る廿七日を期し全滿に行はれる排共大會への間島省民の熱意は、古くより共產主義に苦しめられた土地柄だけに奔流の如く迸り全省民は早くも口々に排共標語を唱へて廿七日を待つてゐる

排共大會は廿六日午後七時より新舊劇場において協和會間島省本部主催の下に行はれ、反共大講演會によつて其序幕が切つて落され、當日は省本部田邊事務長の開會の辭に引續き江原省本部長、馬商務會長他二名の講演があり、右二名の中には共產黨の暴虐を體驗した牛島人も豫定され、各々壇上より支那事變を惹き起し東洋における黃色人種相剋の一大悲劇を現出した元兇國際共產黨排擊、沿海州におけ（る）廿萬の牛島人ならびに滿洲國人、蒙古人の悲慘なる日常人民戰線を操縱して世界塗獄化さんとする共產黨の惡虐振りを徹底的に暴露排擊し、東亞の和平確立に向つて不退轉の勇氣を以て進む日滿兩帝國の姿と國民の覺悟につき大熱辯を揮ふべく

更に廿七日は午後一時より同じく省本部主催の下に領事館西廣場において延吉在住內鮮滿各民族を打つて一丸とする排共大會を開催、先づ田邊省本部事務長の開會の辭についで日滿兩國國歌合唱に對する敬禮、國歌合唱

排共決議起草委員の指名、內鮮滿各民族より夫々一名宛起つて排共演說を行ひ、排共決議を朗讀、日滿兩帝國萬歲の三唱をなして田邊事務長の閉會の辭によつて大會を閉ぢ、續いて街頭示威行進に移り延吉神社において解散することゝなつてゐる

義勇軍撤收問題
再び險惡化す

【ロンドン廿三日發國通】義勇軍撤收問題はイタリーの妥協案提示により前途著しく好轉したかの如くに見えたが、二十二日の不干涉委員會分科委員會でドイツ、イタリー、ポルトガル三國代表は俄然態度を一變して義勇軍撤收を監督する國際委員會の權限に異議を唱へ、一方ソヴイエト代表マイスキー大使は義勇軍の撤收はスペイン兩政權に對する交戰團體權附與の先決條件なりと强硬に主張したため事態は再び險惡な狀態に陷り協定成立は極めて望み薄となるに至つた

佳木斯の都市計畫案成る

去る九月中旬着々準備を進めてゐた佳木斯市籌備處はこの程大體の成案を得たので、副武事務官が現地案を携へ廿三日の飛行機で中央部と連絡のため赴京した、現地案によれば佳木斯市の外廓は實に六十一キロに及び、その中には將來市民の遊園地として目される松花江中の柳樹島も含まれてゐる

△地域　佳木斯保、長發屯、竹板屯、强家屯、洋草川、陶家屯、蒙古力（以上樺川縣）柳樹島（現在湯原縣）
△面積　十二萬七千六百平方米
△戶數　八千八百二十六戶
△人口　四萬七千三百四十二人

なほ康德五年度歲出豫算は市公署建設費を含み四十七萬圓歲入見みは目下の處廿五萬圓程度で、市政施行は十二月一日の見込みである

競馬
競馬ファンの決算日
最終競馬閉幕
賑つたきのふ名殘りの人出

小春日和に恵まれた好天氣に惠まれた新京臨時記念競馬第六日目は、本年の千秋樂レースにお名殘り競馬の人氣を集め日曜日の快よい氣溫に引出されて久し振りに見る大觀衆となつて、さしもに廣い大房身の馬場も、今日だけは文字通りの超滿員となつた、さすがに世を謳歌する競馬黃金時代を彷彿たらしめ、レース每に白熱的熱戰を演じて華やかに幕を閉ぢた、當日に於ける勝馬は聊か番狂せを豫想されてゐたが、格別の大穴もなく、第一レースに北龍二十六圓七十錢の好配當にトップを切つたが、第七レースに玄洋三十圓五十錢の最高配當に終り、第九レース方變一、八〇〇米に蓼（久保）二分三十二分二と新記錄を出して馬格を上げ玆に長期に亘る競馬の淸算をつけたのである、大房身の馬場は多眠の仕度へ、お馴染の別離に心なしか寂漠の感懷を漂はしファンの胸中に、感情が僅かに淫しい昂奮の名殘りを止めてゐた、本日に於ける成績左の如し

▲入場入員　三、三二二名
▲馬券賣上高　九六、二二五圓
▲搖彩票賣上高　二二、二五〇圓

第六日成績

▲第一競馬（六頭、二、二〇〇米）1北龍（三分一六秒）2奉天豐姬、3觀雄、配當—單二六圓七〇、複1一二圓三〇、2一七圓三〇、搖彩票1一六三圓八〇、2四〇圓九〇、等外一二圓八〇

▲第二競馬（五頭、二、〇〇〇米）1銀嶺（二分三六秒一）2金進、3初瀨、配當—單六八圓四〇、複1六圓二〇、2七圓七〇、搖彩票1三七一圓二〇、2九二圓八〇、等外三八圓六〇

▲第三競馬（八頭、二、二〇〇米）1吉功（三分五秒三）2秋風、3赤驥、配當—單一七圓六〇、複1七圓二〇、2八圓一〇、3六圓二〇、搖彩票1八七三圓六〇、2二…

▲第四競馬（四頭、一、八〇〇米）1金翔（二分一九秒四）2英貫、3新長、配當—單一〇圓七〇、搖彩票1四二四九圓六〇、3一二四圓八〇、等外六二圓四〇

▲第五競馬（八頭、二、〇〇〇米）… 等外三五圓

▲第五競馬（八頭、二、〇〇〇米）1公流（二分四七秒四）2來北、3北州、配當—單一二圓四〇、複1六圓二〇、2九圓七〇、3八圓一〇、搖彩票1一、二三二圓、3一七六圓、等外八八圓

▲第六競馬（六頭、一、八〇〇米）1眞力（二分三六秒二）2金大鵬、3東春、配當—單一〇圓八〇、複1六圓三〇、2六圓、搖彩票1六四二圓五〇、2一六〇圓六〇、等外五〇圓二〇

▲第七競馬（十一頭、一、八〇〇米）1玄洋（二分三三秒二）2信貴、3丹友、配當—單三〇圓五〇、複1一一圓二〇

▲第八競馬（六頭、一、八〇〇米）1新勇（二分三三秒一）2東功、3第三羽衣、配當—單八圓八〇、複1七圓五〇、2一八圓四〇、搖彩票1六三四圓八〇、2一五八圓七〇、等外四九圓六〇

▲第九競馬（十一頭、一、八〇〇米）1蓼（二分三二秒二）2舞鳥、3公山、配當—單九圓八〇、複1七圓一〇、2八圓五〇、3一一圓六〇、搖彩票1一、三四四圓、2三八四圓3一九二圓、等外六〇圓

▲第十競馬（七頭、一、八〇〇米）1公月（二分三八秒四）2丸八、3松竹、配當—單一〇圓四〇、複1七圓一〇、2一三圓五〇、搖彩票1六四〇圓、2一六〇圓、等外四〇圓

明月溝附近に
アンチモニー鑛發見さる

今回京圖線明月溝驛西南十二里大甸子村近にアンチモニー鑛が埋藏されてゐることが發見され目下新京の大盛鑛業公司の手により採掘準備が進められてゐるが同地アンチモニー鑛埋藏量は調査完了のものゝみにても五萬噸といはれ大いに有望視されてゐる

丸太棒で匪賊五人を擊退

【佳木斯國通】當地入電によれば廿日夜鳳山縣第二區寶興屯に土匪十數名が來襲、農夫徐福祥宅に侵入を企てたが、これを知つた徐福祥は有合せた丸太棒を振つて匪團に立ひ向ひ瞬く間に五名を打ちのめしたこの勢に恐れをなした賊の殘黨は遂に一物をもとり得ず敗走してしまつた

濱江省六縣の特產檢査規格決定

濱江省各縣農事合作社では所屬穀市場において授受に供し又は農業倉庫に寄託する大豆、小麥その他の農產物に對し格付檢査を行ひ品質の向上規格の統制を圖ることゝし差當り本年はブロツク內の各縣に於て協定せる標準に基き地方格付檢査を實施することになつたが、濱洲線滿溝を中心とする肇州、肇東、青崗、呼蘭、蘭西、安達の六縣における檢査規格に關しては二十二日濱江省公署に右各縣合作社專任事檢査員及び關係者出席協議の結果左の如くそれぞれ決定した

•大豆•　合格品を三等級に分ちこれが標準に關しては十一月十日までに各縣より省公署に見本を送附し省において滿鐵混保檢査所と協議の上決定する
•小麥•　百二十五ゾロ以上を合格とす
•包米•　夾雜物三％、水分十八％以下を合格とす
•粟•　無し
•高粱•　百二十ゾロ以上を合格とす
•麻子•　夾雜物六％以下を合格とす
•黑蘇子•　夾雜物八％以下を合格とす
•小麻子•　夾雜物三％以下を合格とす
•大麻子•　夾雜物五％以下を合格とす

なほ右は各縣における暫行的規格にして各地方事情により夾雜物によるべきか、ゾロによるべきか、直ちに決定し難きものは今後省において硏究決定を見るまで從前通り滿鐵の輸出檢査規準を採用することになつた

武道に馬術に軍國の秋多彩

惜しや京商の奮戰 榮冠强豪大連へ

個人優勝は憲兵隊横田君 全滿劍道爭覇戰終る

第四回全滿武道大會劍道大會は午前に引續き第二、三回戰を行ひ石井、左座兩教士の奧技を極めた大日本帝國劍道の型あり、個人試合に移り出場選手二百二十名が東西五組に分れしのぎを削り、横田、森、富崎、石川、本間の五選士が群雄をなぎ倒して勝ち殘り次いで團體戰の四回戰を開始し東軍大連と憲兵隊、西軍新京商業と中銀が强豪奉天、撫順道場、昭和製鋼所、旅順工大を屠り準決勝に入る、東軍憲兵隊勇猛果敢に大連を攻めたえたが老練な大連よく對し三對二で大連が勝ち西軍は少壯新京商業高段者揃ひの優勝候補中銀に對し慓悍機敏の早技で二對二で兩大將戰に入り雌雄決せず接戰十分滿場の觀衆に片唾をのませたが遂に弱冠星二段大會中の强者飯島四段に一本も與へず小手と胴を取り三對二で決勝戰にのぞみ稱讃を博したが優勝戰では本大會隨一の俊傑揃ひの大連に向ひ四對一で惜敗再度大連市が全滿を制覇して優勝、また個人試合は高野範士、石井教士審判のもとに前記勝者五名に依つてリーグ戰が行はれ憲兵隊横田君全勝して優勝午後五時四十分參加團體五十八、個人試合百二十名といふ空前の大會を終了し引續いて優勝旗授與式を行ひ團體並に個人優勝者に優勝旗、優勝盃、優勝楯並に副賞を授與して六時閉會した、成績左の通り

▽團體優勝

一等　大連市

二等　新京商業學校

▽個人試合

一等　憲兵隊　横田七郎

二等　奉天道場　石川豐

三等　奉天道場　富崎正治

四等　撫順道場　森義彥

五等　新京弘道館　本間義營

手に進み失敗し直ちに進撃して小手を取る、秋元間から中段に攻め星の劍尖の上りを見て機敏に小手を一本秋元再度左大段で攻めたてた瞬間星見事に下をくゞり逆胴で星の勝

メコ田　手——秋　山

秋山攻撃に出んとした瞬間田手小手をとりその後數回の打合で鍔ぜりあひに入り田手引き際に面をとり田手の勝

ドコ溝　口——佐　藤

溝口佐藤の打ち込む小手をはづして逆に小手を襲撃一本、佐藤再度小手を攻む溝口右手をはなしてこれを防ぎ佐藤のくづれた體勢を回復せんとする時胴をとり溝口の勝

コゴ立和田——ド酒井

兩方攻め合ひ酒井の技にうつらんとするところを立和田小手を一本、酒井鍔ぜり合ひののち別れ際に胴をとり勝負、立和田ぐんぐく攻め二、三本打合つたのち小手をとり立和田の勝

メメ岩　田——ド持留

持留攻撃に入り延びんとする際一寸滑つて轉ぶ瞬間にほめて岩田面を打つ、間ぜり合ひののち持留思ひ切つて飛び込み胴をとる、はげしく打ち合つたのち鍔ぜりあひとなり別れ際に岩田の打つた面が成功

【寫眞は上個人優勝者横田四段、下團體優勝者大連市チーム】

鎬を削る熱戰の跡

團體試合午後の成績

▼第一回戰　勝　負

日滿商事3—2國際運輸

新京青年校3—2黑河

大興公司4—1治安部B

牡丹江4—1京商職員

奉天郵政局3—2電々A

旅順工大4—1京中A

濱江省4—1龍江省

哈爾濱鐵局4—1電業

奉天道場4—1弘道館

吉林滿鐵4—1本溪湖

首都警察A4—1總務廳

▽第二回戰

哈爾濱鐵局5—0濱江省

奉天道場4—1吉林滿鐵

大連市4—1首都警察A

大同學院4—1新京市公署

奉天警察3—2滿洲炭鑛

憲兵隊4—1治安部A

撫順道場B5—0營繕需品局

興安南省3—2憲兵訓練處

京商A4—1首都警察B

南滿工專4—1新京武德會

昭和製鋼所3—2撫順道場A

京中B4—1經濟部

中銀3—2錦州武道會

日滿商事3—2新京青年校

牡丹江4—1大興公司

旅順工大5—0奉天郵政局

▽第三回戰

奉天道場3—2哈爾濱鐵局

大連市3—2大同學院

憲兵隊3—2奉天警察

撫順道場B4—1興安南省

京商A3—2南滿工專

昭和製鋼所4—1京中B

中銀3—2日滿商事

旅順工大3—2牡丹江

▽第四回戰

大連市3—2奉天道場

憲兵隊3—2撫順道場B

京商A3—2昭和製鋼所

中銀3—2旅順工大

▽準決勝戰

(大連市)(憲兵隊)

審判　守屋先生、安齊先生

コ秋元　メメ横田

コ田手　・品川

ドコ溝口　岩田

コド三橋　メメ寺崎

コド岩田　メ節田

(新京商業)(中央銀行)

審判　篠原先生、奧川先生

コド星　飯島

秋山　武田

メメ佐藤　メメ次木

メメ酒井　メ前川

持田　コ若杉

▽決勝戰

(大連市)(新京商業)

審判　宮澤教士、左座教士

コ秋元——ドコ星

秋元左上段にきめ星よく防ぎ合打を繰り返すうち星小

各種競技に亘り 勇壯な美技展開

少年會員の鮮やかな馬場馬術 全滿馬術大會終る

滿洲乘馬協會と大滿洲帝國馬術協會兩選手が覇を爭ふ國都最初の壯擧滿洲馬術大會は名手百八十騎をすぐつて二十四日新京西公園運動場で開催された、競技は小障碍連續飛越競技から始まり終始火の出るごとき白熱戰と妙技の展開に會場を埋めた萬餘の觀衆を昂奮と感激の頂點に導き五年の歷史をもつ滿洲乘馬協會紳士團體對抗競技は前年の覇者撫順チーム、學生團體對抗競技は工專チーム、大滿洲帝國馬術協會團體對抗リレー競走は畜產局チーム、日滿對抗連續障碍飛越競技は大滿洲帝國馬術協會が各の榮冠を獲得しパン食競走を最後に競技を閉ぢ直ちに優勝旗並に優勝カップの授與式に移り一同整列岸副會長より撫順チームに旅順要塞司令官の優勝旗と陸軍大臣盃、關東軍司令官盃、滿鐵總裁盃を工專チームに關東州廳長官盃を畜產局チームに畜產局長盃をそれぞれ授與し國旗降下滿洲馬術協會の萬歲を三唱日滿軍人會館にて審査委員長中里少佐の講評があり大會の幕を閉ぢた、この大會で特筆大書すべきは大同學院學生四氏によつて行はれた滿洲馬による障碍飛越の妙技は今まで滿洲馬に對する我々の認識を根柢から覆へしその歎調如何によつては日本產馬と性能に於て聊かも異らざることを雄辯に物語り畜產局員のボロ競技により滿洲產馬の耐久力の旺盛なることをはつきり印象づけたこと今一つは華陽倶樂部の少年會員順天小學校五年生堀尾君、京中一年永島君、少女會員中嬢、小原嬢、金嬢の鮮やかなる馬場馬術は青年滿洲の將來に或る力强さを感ぜしめたことである

團體、個人優勝者氏名

滿洲馬術大會各種競技別優勝團體及び個人優勝者氏名は左の如くである

△小障碍連續飛越競技第一班一等中野武光(大連)二等川村竹中德三(撫順)二等川村和夫(滿鐵)第二班一等櫻木一雄(需品局)二等村重武夫(交通部)三等竹內裕(治安部)

△日滿對抗リレー競走優勝滿洲乘馬協會

△小障碍連續飛越競技(軍厩舍班)一等熊谷源治(大同學院)二等船淸吉(關東軍厩舍)二等赤羽淸(今村部隊)二等古郡仁四郎(今村部隊)

△滿洲乘馬協會員學生團體競技優勝工專チーム同上個人一等岩本正克(工專)二等二宮正三(工大)三等林義記(醫大)

△滿洲乘馬協會員紳士團體對抗競技團體優勝撫順チーム個人一等諸江郡一郎(撫順)三等笠井敏夫(大連)

△大滿洲帝國馬術協會員團體對抗リレー競走一等畜產局、二等經濟部

△日滿對抗連續障碍飛越競技優勝團體大滿洲帝國馬術協會

競馬さよなら

競馬ファンの總決算日、本年度シーズンの最後を飾る臨時競馬第六日目は廿四日日曜日の秋晴に惠まれて馬場を埋めた多數ファンの投機とスリルを賭けて異常な昂奮の裡に蓋をあけたが、一レース毎にとつたスラれたの悲喜もこの日ばかりは些か深刻なものがあつて、名殘りの十一レースを最後に泣き笑ひの夢もこゝ暫くは馬場ならぬ枯野を馳廻るより術べがない、人も馬も冬籠りだ、再び新しいシーズンまでこの冬籠りの溫床の中に賑やかだつた馬場の名殘りを愛しもう、寫眞はきのふ競馬場のファン

全滿土產品組合の 聯合會を設立

統制、連絡機關として實現か

從來滿洲の知名都市には個々に土產品組合が設置してあり何等これが統制、連絡をなすべき機關とてなかつたが最近大連土產品組合より新京土產品組合宛に全滿土產品組合聯合會を設立し新京に本部を置き全滿土產品の向上發展、土產品商の連絡統制に當らせてはどうかとの希望があつたが新京土產品組合でも勿論異議なく早速次の組合會議にかけ一氣に聯合會設立の運びに至るものとみられてゐる

教育勅語を謹寫

全市の中、小學校生徒が 自發的に愛國運動

來る三十日は畏くも明治天皇が明治二十三年教育勅語を御下賜あそばされた記念すべき日であり、現下非常時局の折柄國民の記憶を新たにする日であるが都下各小學校、中等學校の兒童生徒も戰時體制下の自治的愛國運動を展開してゐる折柄、この記念すべき日を迎へて身を以て畏き御趣旨を實踐せんとして先般の國民精神總動員週間に引續いて二十五日より始る週間に更に一段の運動强化に乘出すことゝなつた、その一つとして小學校高學年兒童及び中等學校生徒は教育勅語を謹寫して新しい認識を養成することとし各學校ともその練習に餘念無いがその自發的な熱心さは驚くべき程のものがある、この中に殊に敷島、錦ヶ丘兩高女生徒は女性特有の纖細な細字で淨書に懸命であるが、三十日の勅語捧讀式に次いで十一月三日明治節のよき日にはこの努力の結晶を講堂に展示することになつてゐる

滿洲國法令の一部 邦人にも適用

けふ公布施行さる

國務院は佈告第一四號を以て二十五日滿洲國法令を日本國臣民に適用に關する件を左の通り公佈施行することゝした

日本國特命全權大使及び當國駐劄大日本帝國特命全權大使は康德三年六月十日新京に於て署名せられたる滿洲國に於る日本國臣民の居住及び滿洲國の課稅等に關する滿洲國、日本國間條約附屬協定第二條及び第四條の規定に基き康德四年勅令第二百九十二號棉花統制法及康德四年產業部令第一四號棉花統制法施行規則を康德四年十月二十五日より日本國臣民に對し適用すること、但し南滿洲鐵道附屬地に施行せられざることを協議決定せり

鐵、鉛鑛の發掘には 何ら懸念なし

不許可の風說はデマ

滿洲に於ける鑛產資源開發に關しては內地資本家の積極的刺戟及び軍需工業の飛躍に伴つて著しく進捗し東邊道、熱河、北滿方面は治安の良好となるにつれて試掘、租鑛權の設定願が鑛山監督署に殺到してゐるが最近在滿一部鑛山業者の間に鐵及び鉛の鑛山に就いては國策に依り租鑛權の設立をなさず、その全部を滿洲鉛鑛と昭和製鋼所に於て開發するとの風評擴まり在京鑛山業者をして危惧の念を抱かしめてゐるが鑛務社及び監督官廳で調査の結果、右は租鑛權設立に際しては鐵、鉛は從來通り一應滿洲鉛鑛經營にするや否かを鑛發より紹介するの外何等新たに强壓的統制をなさないものと判明鑛山業者は何等の不安なくどしどし開發に努力すればよいわけである即ち統制會社たる滿洲鉛鑛、及び昭和製鋼所では鑛發會社の紹介を受けたる場合には運賃、含有分量を計算して大部分を民間の租鑛權設立に委ね補償金を支拂つて會社が直接に開發することは稀で某內地大會社技術家等の吹聽する絕對不許可は無いのである

高野山金剛寺 落慶式擧行

高野山金剛寺の本堂增築並に遺骨安置所の落慶式は廿四日午後二時より行はれた、先づ住職利光智玉師の讀經に始まり信徒總代赤羽一二氏、縣會代表松本建國大學舍監の祝詞あつて後松尾緣山師の宗教講話、井上慈禪師の時局講話あり午後四時三十分本堂樓上より祝ひの餠まきに參詣人を喜ばせて終つた

試乘と見せかけ その儘乘逃げ

新自轉車泥棒

自轉車盜難の被害は日々頻々として各警察署に屆出あるがこゝに新手の自轉車盜棒が出現した、廿四日午後二時頃特別市大馬路四九號松田自轉車店に於て紺色背廣を着した年齡廿七、八歲位の紳士風の內地人が訪れ購入を裝つて愛國號二十八時黑塗自轉車新品價六十圓を試乘盛んに乘廻したのち店員の隙をうかがひそのまゝ姿を晦した、待てど歸らぬ客人に盜難とわかつて驚いて領警署へ屆出た

賣上代金詐取

本籍新潟縣古志郡石津村大字岩野小林貞夫(二七)は去る九月五日特別市興安大路多以良事房に店員として雇はれたが、入店早々から不良性を發揮し素行おさまらず同店でもてあましてゐたところ去る廿日得意先より書籍代金九十九圓八十五錢とほかに釣錢四十圓を詐取して逃走姿を晦し屆出によつて領警署で搜査中であつたが、廿三日午後九時頃五馬路某料理店で藝妓五、六人を上げて散財大盡風を吹かしてゐる最中を同署岩田刑事が發見逮捕した、尙取調べの結果小林は手提鞄、三ツ揃洋服、合オーバー等時價約百圓を他店より購入代金踏み倒した旨自白した、餘罪目下嚴重取調べ中である

慶應再勝

對早大野球戰

【東京國通】早慶第二回戰は廿四日午後一時半早大先攻で開始され六A對五で慶應再勝す、閉戰四時十五分

6A—5

△スコア

早大	0	2	0	2	0	0	0	0	1	—	5
慶應	0	2	0	0	0	0	1	0	3	—	6A

△バツテリー

早大　若原、近藤—辻井

慶應　中田、高木—櫻井

なくて七くせ、あつて八くせと言ふが謹嚴そのものゝやうな領警の警務主任青木さんはとても將棋がすきで▼盤面に向つたが最後夜を徹する位平氣動かざること正に泰山の感『アナタはツヨイ—もう一番』勝つても負けて相手をほめてもう一番と力を入れる臨氏のくせの一つである▼氏の〃もう一番〃は決して最後の一番を意味するものではない事程左樣にねばりがある▼この戰法は氏の公私生活のすべてによく反映してゐるものでやはらかさとねばりの手で切り廻す署內の空氣も至極平和で實績をどしどし上げてゐるからうれしい▼治外法權撤廢も目睫三十年の歷史ある領警署も後一月で解散の運命にあるが〃もう一番〃の粘りで領警の最終を飾ると共に來るべき滿洲國入の希望のスタートされんことを望む

天氣と氣溫

けふの天氣　南西の風晴時々曇

日の出　前七時五分

日の入　後五時四〇分

月の出　後一〇時三一分

月の入　後一〇時四〇分

きのふ　最高　一七度八

氣の溫　最低　一度六

けふの番組

二十五日（月曜日）

◇朝◇

六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操、入港船のお知らせ（大連）
七、二〇支那知識講座（大連）歴史上に於ける支那の外交　谷口忠夫
七、四五朝の音樂（大連）
八、二〇氣象通報
八、四五建國體操
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座（哈爾濱）秋と多を主題とした音樂の話　網代榮三
一〇、二五料理献立（大連）
一〇、三五家庭メモ　大連高女教諭　岩井美喜
一一、〇〇、四〇經濟市況（大連、新京）
一一、三五經濟市況（大連）

東京無線　ラヂオの御用は　電話四〇二〇五三八九番

◇晝◇

〇、〇〇一晝の演藝（レコード）
〇、三〇ニュース（東京、新京）
一、〇〇經濟市況（大連、新京）
一二、四〇經濟市況（東京）
一二、五〇時報（東京）
三、〇〇經濟市況（大連、新京）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）ニュース、氣象通報（新京）

義人長七郎（八十一）
（舞台上演）（映畫化）中川雨之助
竹枝一郎畫

白痴の少年（二）

スツカリと狭い家具の仕込み、少年の一命はまぎれ、鳳凰の火、家具一方といふ奥へ、階段の方から、人聲が聞えて來ました。

家具の人が、僧と連れ立つて這入つて來たのです。

草平が、ハツと氣を放いた時、少年は飛鳥のやうに逃げ出しました。

「やあい、乞食の馬鹿やアい」

と逃げながら喚いて行くのです。

「大丈夫だらうか」

と、腰がみをして、後ろ姿を眺めながら、草平は心配さうです。

「心配は要らないでせう。見た通りの白痴だから」

と、相手の非人に云はれたので、稍や安心の樣子で、やがて二人は連れ立つて、館内を出て行きました。

と、突然大きな聲で、唄のやうに節をつけて、手拍子取つて言ひました。

「只今お話し致しました、あれが弟の龜吉でございますが、御覧の通りの愚者で……」

と、母親が言ふのでした。

しかし長七郎は、それを上の空に聞き流して、龜吉の樣子に、ヂツト眼をつけてゐましたが、やがて、ツカ〳〵と傍へ寄つて來て。

「コレ、龜吉とやら、將軍さまがどうしたと申すのぢや」

と尋ねました。

非人と違つて、もの優しい長七郎に、頭を撫でられて、スツカリ安心したものか。龜吉は平氣で

「將軍さまが斬られるだア」

と云ひました。

爲が子供、おまけに白痴の言ふことだが、しかし聞き捨てならぬことだと長七郎は、思はず膝を乗らせました。

家庭医学

秋口に多い子供の急性消化不良

療法を過まると慢性になる

涼しくなると、俄に食慾が増進するのが普通ですが、暑い間に弱つてゐた胃腸に、急に多くの食餌をとりすぎると、障碍を起し勝ちで、殊に

抵抗力の弱い幼児

には、この頃になつて急性消化不良を起すものが、俄に多くなつて來ます。

また腹の冷等の爲に風邪をひき、それが原因で消化不良を起すこともあります。風邪と消化不良とは關係がない樣ですが、實は非常に密接な關係があるので、消化不良から風邪を起す場合、風邪から消化不良となる場合、いづれも少くありません。

消化不良で青緑便や粘液便を出しますと、多くはお乳や食餌を制限し、あるひは全く飢餓療法等行ふのが普通ですが、これは却て幼児の

體力を消耗させ

病氣を慢性にし、餘病併發の機會を造ることになり勝ちですから、注意しなくてはなりません。

最近では幼児の消化不良が、いづれも榮養不調から來てゐるのに鑑み、食餌を制限する代りに、完全な榮養療法を行つて、病氣の根本原因を取除くことに力める樣になつて來ました。

食餌の過多から來てゐるものは榮養過剰と思へますが、その半面には、別種の榮養の甚だしい缺乏があるわけでありますから、要は脂肪、蛋白、含水炭素、無機物、ビタミンの各榮養素を過不足なく攝らせ、榮養の完璧を期するのが急務であります。

こんな場合に最近、活性ヘーフエ菌劑若素（わかもと）を食餌に混じて、あるひはその前後に與へる方法が推奨されて居りますが、

稀有の藥用微生物

この若素（わかもと）はたるヘーフエ菌を主體とし、學界特許の方法で製られた生物藥でありまして、その組成中には、幼児の成長發育を促し、その體質を健康にする多くの貴重な成分を含んでゐる事が、明かにされてをります。

即ち幼児の肉體を形成し、體成分となるアミノ酸、レシチン、骨組を造り抵抗力を強めるカルシウム、燐、ビタミンA、D、成長發育を促すグリコゲン、ビタミンB、あるひは胃腸の働きを強める活性酵素等があつて、榮養の失調を補ひ、身體組織を強め、病氣に對する抵抗力を養ひますから、消化不良や風邪の豫防、治療には獨特の效果を發揮するのであります。

秋まで殘る脚氣は危險

脚氣は春から夏にかけて多く起り、秋になると段々輕快するのが普通ですが、秋になつてもなほ輕快せず、むしろ増悪する樣な傾向を持つ脚氣は、體質其他にその原因が潜んでゐる爲であつて、病質も悪く危險だとされてをります。

◇…特異

即ち結核性の素質ある青年男女や、妊娠中、産後の婦人等が侵されることが多く、症狀もたゞ痺れるとか眠れるとかいふ位の單純な脚氣の症狀に止まらず、種々の新陳代謝障碍、榮養障碍を伴ひ、不眠、神經衰弱、倦怠感等を起し結核を增惡させ、妊娠中の婦人は惡阻や腎臟炎等を引起し、また難産の原因ともなります。

さういふ人達は、常人以上に新陳代謝が亢進してゐる爲に、ビタミンBを消費することも人一倍であつて、通常の榮養法を以てしては、それだけの

◇…消費

を賄ひ切れず、所謂脚氣症狀を起すことになるのですから、結核素質のある人々、妊娠、産後の婦人、また激しい筋肉運動に從事する人、長時間に亘つて頭腦を使用する人などは、特にビタミンBの補給を怠らぬ樣心懸ける事が肝要です。

ビタミンBの補給法としては、食は、相當の效果がありますが、既に慢性になつてゐる人には、それだけでは不十分であり、また場合によつてはそれも出來ない人がありますが、最近最も效果の多いビタミンB補給法として賞用されてゐるのは、活性ヘーフエ菌劑の内服であります。

これは生物界で、最も多くビタミンBを含んでゐるといはれる微生物でありますが、生活菌でありますから、その儘では、

◇…保存

にも服用にも不便でありますが、幸ひに榮養學界の先覺者の苦心研究によつて、その成分を破壊せぬやうに乾燥製劑した若素（わかもと）といふ有名なヘーフエ菌劑がありますから、これを用ひて十分に、脚氣の豫防と治療を圖ることが出來ます。

この若素（わかもと）は、ビタミンBの他にも、特殊の增養法によつて含有させた多くの有效成分、例へば、胃腸の働きを強めるもの、利尿、便通の調節を圖るもの等があつて種々の併發症、特に妊産婦の惡阻や腎臟炎を防ぎ、また赤血球、白血球を增加させる作用もあつて、妊産婦の貧血を恢復させ、結核菌の勢力を挫く等の效果も認められてゐるのであります。

しかもその價格が低廉であつて一日四五錢にしか當りませんから常用しても負擔が僅少で濟み、一般家庭に常備されるのにすこぶる好都合であります。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門内際、わかもと本舗榮養と育児の會（振替東京一七〇〇〇番）から三百錠入、千錠入粉末九十瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢（小児には二三錢）の廉價で發賣されてゐます。尚、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次販賣してをります。

毎年起つてゐた脚氣を豫防

（高知）中山省三

私は高知縣立農林學校の生徒でありますが、毎年六、七月の頃から、きまつた樣に脚氣を患らひ、通學するのに實に困難を感じてをりました。（中略）友人達に、何かよい藥は無いものかと尋ねて見ますと、一友人があるとも〳〵君はあの有名なる「錠劑わかもと」を知らないのか、一度服んでみよとの事で、早速本町の宮崎誠天堂に參り、四月十日から服用し初めました。誠か、服み續けるうちに、食事が今までにない大變美味しく、進む樣になり身體も益々丈夫になつて行く樣なので、この分なれば今年は脚氣も起るまいと心強く思つてをりましたが、案の通り、今に至るも起る氣配も見えません。久しく私を苦しめてゐた病敵が攻め寄せないので、嬉しくてなりません。これも一重に「錠劑わかもと」の御蔭です。

新京日日新聞
夕刊
十二月十五日
本紙定價（郵稅共）一部五錢 一ヶ月壹圓 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三二二五 營業局專用（3）三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 永越內之介

投彈百發百中の海軍渡洋爆撃隊
南翔鎭大火災を起す

【○○廿五日發國通】わが軍渡洋部隊の○○機は廿四日午後勇躍基地を出發午後五時頃上海近郊の南翔鎭上空を襲つて大爆撃を敢行したが、この日の總指揮官は須田少佐、これに從ふ隊長は森永、檜貝兩大尉、原田、渡邊兩中尉の猛者揃ひで、投彈百發百中南翔鎭市街は見る／＼大火災を起し、黑煙天に冲し悽慘を極めた

大場鎭方面砲聲益々熾烈

【上海廿五日發國通】廿四日大場鎭方面における彼我の砲聲は夜に入るに從ひます／＼熾烈となり、廿五日午前零時半頃には殷々と上海市內に谺し、また所々に火災起り火焰物凄く天を焦し激戰の有樣を物語つてゐる

大場鎭方面の敵南方に總退却

【劉家口廿四日發國通】敵は大場鎭の前線根據地と恃む馬橋宅、紀家盃廊を死守激戰數日に亘つたが、遂に廿三日夜來のわが猛擊に逐次敗退の色を見せ今朝にいたるや雪崩をうつて崩壞、大場鎭北側地區の線を拋棄して南方に向け退却、わが第一線部隊は一齊に喊聲を擧げつゝこれを追擊前進中である

【上海廿四日發國通】廿四日午後五時わが海軍航空隊の偵察によれば、大場鎭方面の敵はさらに續々後退を續けてゐる

敵主要陣地を十回猛爆撃

【上海廿四日發國通】大塚少佐、田中、江草南大尉、松尾、小倉、野中各中尉指揮の海軍航空隊は全力をあげて廿四日午前九時より大場鎭、南翔、○○、○○、○○その他上海近郊の敵主力陣地を十數回にわたり猛擊、さらに敗走する敵部隊に徹底的痛擊を加へた、○○○は廿四日正午わが爆擊のため大火災を生じ目下盛んに延燒中である

走馬塘クリークを越えて西南方に敵を壓迫中

【上海廿五日發國通】軍報道部廿五日午前十時發表
一、二十四日夕敵後方部隊はなほ走馬塘クリークの南岸で大場鎭を死守し頑强に抵抗せり、軍は夜に入るも攻擊を續行し、今朝來○○部隊をもつて走馬塘クリークを越えて西方および南方に敵を壓迫し、○○部隊をもつて大場鎭および東側地區の敵を猛攻中なり
二、谷川部隊は昨日の攻擊を續行して天滌寺方面および競馬場南方地區より江灣鎭を包圍攻擊中

◇……內邱城入城の○○部隊

艦隊報道部發表

【上海廿四日發國通】艦隊報道部廿四日午後八時半發表
檜貝大尉および大杉大尉の指揮する海軍航空部隊は月明の洋上を長驅して廿四日拂曉午前四時頃相前後して澳口を空襲、敵飛行場に最も有效的爆擊を敢行せり
（午後九時發表）
一、海軍航空部隊は大場鎭、眞茹方面より退却中の敵主力に對し猛烈な追擊爆擊を決行するとゝもに蘇州クリーク、嘉興、崑山、浦東などの彼方連絡線に對し徹底的に攻擊中なり
二、又江上艦艇も江上より陸軍に協力、江灣附近の敵陣地に大遠距離射擊を試み味方の推進擁護に努めつゝあり
三、陸戰隊は動搖の色ある閘北方面の敵を極力壓迫中なり
四、海軍航空部隊は廿四日正午頃南京を空襲、飛行場に有效なる爆擊を敢行せり
なほ南郷大尉の指揮する航空部隊は南京上空において敵のノースロップ一機に遭遇、これに空中戰鬪を挑み交戰僅か數分にして見事敵機を擊墜せり

各地戰況
廿五日朝まで

▲上海方面 二十三日夜來のわが猛攻を支へきれず江灣鎭、大場鎭方面の敵は二十四日朝に至り總退却を開始皇軍地上部隊は全力をもつて猛追擊に移り、空軍部隊も實に○○機を擧げて潰走中の敵を爆擊、江上艦艇またこれに協力世界戰史未曾有の大殲滅戰を展開中にして江南の曠野は爆煙濛々とたちこめてゐる

▲京漢、津浦線方面 京漢線列車追擊隊は滹河の敵前渡河を終り全部隊は廿四日豐樂鎭に入城した、また韓復榘軍は小規にもわれを邀へ擊たんと津浦線大黃河に陣を張つてゐるが、わが空軍は連日これら諸陣地及び泰安、兗州等の各地に痛擊を加へつゝあり同方面の敵陣敗色すでに濃厚

▲山西方面 正太線娘子關附近北方一里省境の高地および狡桃園南方一里の高地は廿四日皇軍の手に歸し、娘子關舊關の奪取は時間の問題となり同蒲線忻口鎭の戰鬪進展と相俟つて太原省城の陷落いよ／＼目睫に迫る

敵兵軍馬の死體でクリークは埋る
大場鎭一帶混亂の極

【上海廿四日發國通】廿四日の上海戰線空爆に參加縱橫無盡の活躍をした小倉中尉は午後五時頃○○基地に歸還、偵察の模樣をつぎの如く語る

大場鎭一帶クリークといふクリークは戰死した敵兵や軍馬の死體なりトラックなどにより一帶に埋められてをり、敵兵がトラック數十臺を連ねて續々退却してゐるのを發見、これを捉へて追擊すると蝗のやうに飛降りて四散し、わが爆彈のため敵兵やトラックや軍馬などが空中高く吹上げられるのが認められた、又橋といふ橋はわが爆彈のため悉く破壞されてゐるので敵の狼狽混亂ぶりは言語に絕するものがあつた

英兵流彈で即死

【上海廿四日發國通】ルータ電によれば、英國警備區域ケスウイック路において二十四日午後三時三十五分流彈にあたり英國兵一名即死、一名負傷および馬二頭負傷した

海軍當局遺憾の意表明

【上海廿四日發國通至急報】艦隊報道部廿四日午後十時二十分發表
日本海軍當局は二十四日午後三時過ぎケスウイック路における英國守備陣地を支那軍陣地と誤認し、これを銃擊ー英國人一名に危害を加へたる件に對し深甚なる遺憾の意を表するものなり

岡本總領事遺憾の意表明

【上海廿五日發國通】岡本總領事は廿四日午後十時フイリツプ英總領事をその私邸に訪問しイギリス兵に對するわが海軍航空機の誤認襲擊事件の起れるに對して深甚なる遺憾の意を表するところがあつた

上海戰線戰意なく敵の投降者續出
一度にごつと八十六名

【上海劉家行廿四日發國通】廿三日夜以來潰走する敵を○○クリークに向ひ急追中の○○部隊の正面においてわが戰車隊が突擊するや附近の敵兵は抗し切れず突如廿二名白旗を掲げて降服して來た、續いて○○部隊でも丈餘の白布に「降服するものは殺さず」との文字を書いた幟を作り散兵壕よりふつたところ敵兵はこれをみてまたもや續々降服その數八十六名の多きに達した、かゝる多數の投降は最初のことで事變勃發以來二ヶ月餘り敗戰を重ねた敵の戰意が如何に衰へてゐるかを物語るもので、堅壘を誇つた大場鎭の守りもつひに拋棄するものとみられる

北支方面の法幣下落の兆を示す
北京財界の有力筋悲觀的觀測

【北京廿四日發國通】北支及び上海方面における支那側の徹底的敗戰と中央政府の財政危機が漸次明確になるに從つて北支財界では中央紙幣の將來について一樣に悲觀的觀測を下し、早くも幣價下落の兆を生じて來てゐる、右に關して北京財界某有力者はつぎの如く語つた

元來中華民國の通貨は銀の兌換券ではなく單なる不換紙幣である、從つてこの通貨の價値維持は强力な中央銀行の統制と紙幣の管理によつてのみ維持されるものである、しかるに中國政府はすでに敗戰續きで南京は死の都と化し、金融の中心市場たる上海陷落も最早時間の問題となつた以上、南京政府は巨額の不換紙幣を濫發して軍備に充當してゐる今日なほ北支方面の法幣が市價を維持してゐるのは紙幣の數量が北支において不足してゐるためと南京、上海方面の實情が明確でなかつたゝめである、從つてこの方面における支那側の敗戰と上海の發行銀行の狀態が判明するにつれて法幣は當然下落すべき運命にあり、すでに動搖の兆さへ見えて來てゐる

本年度中の鋼材不足分歐米より輸入

【大連國通】本年度中の滿洲における鋼材需要は大體約十萬噸とみられてゐるが、內地における日鐵等からの輸入は時局柄杜絕の狀態にあり、日滿商事では國內の需要に對し外註のほかなく昭和製鋼所、滿鐵等の鋼材一萬七千噸、販賣組合の分四千噸をすでに歐米に外註し、なほ一萬噸の外註引合中であるが、引續いて鋼材は主として歐米に仰ぐべく目下種々對策を講じてゐる

參謀總長宮殿下祝電を賜ふ

【上海廿四日發國通】閑院參謀總長宮殿下には廿四日の上海方面の戰線進出につき同日午後四時松井上海方面最高指揮官宛左の祝電を發せられた
軍司令官以下連日の奮戰により敵軍を擊退し猛追を敢行中なるを知りその成功を慶祝するとともに戰陣歿せし將兵の靈に對し弔意を表し、併せて將兵一同の心勞を多とす、邁進いよ／＼戰果を收めんことを望む

北支の開發に外資も歡迎
賀屋藏相車中談

【大阪國通】賀屋藏相は廿三日大阪驛通過の列車で廣島に向つたが、車中北支開發問題につき左の如く語つた
北支開發については今から充分考へてゐるが、まだ具體的發表の段階には來てゐない、開發資金はわが國の資本でやるにこしたことはないが、必ずしも資本の獨占論を唱へる心要はない、外資でも歡迎すべきだと思ふ

娘子關附近の敵を空爆

【○○廿五日發國通】正太線方面の戰況は漸次わが軍に有利に展開しつゝあるが、之に協力して園田部隊の○○機は廿四日午前、午後の數回にわたり舊關東側および北側、娘子關南側に蟠居する敵部隊に對し爆擊を敢行、中富部隊の○○機もこれと同樣娘子關後

平林少將北滿國軍巡視

治安部最高顧問平林少將は北滿駐屯國軍部隊初度巡視のため廿三日午後三時三分着列車で來哈、日滿陸海軍將星ならびに官民代表多數の出迎裡に驛貴賓室に入り、新任の挨拶を交した後驛前廣場に堵列せる第四軍管區ならびに江防艦隊麾下各部隊を閲兵の後、宿舎哈爾濱ホテルにて少憩、直ちに軍管區司令部を訪れ初巡視を行つた、同少將は廿四日在哈滿洲國軍各部隊の親閲を遂げ廿五日軍艦にて佳木斯に向ひ、第一線國軍巡視後來る卅日哈爾濱に引返し、午後一時十分發列車で歸京の豫定

人事往來

着京

▲三神吾郎氏（會社員）二十四日東京ヤマトホテル
▲山田復之助氏（鑛業）同
▲名倉光次氏（會社員）同
▲黑岩正夫氏（清水組）同
▲大島高精氏（大學講師）同
▲田尻藤吉氏（石川島造船所）同國都ホテル
▲成富文五氏（同）同
▲西谷實一氏（同）同
▲堀軍雄氏（芝浦製作所）同
▲山中吉兵衛氏（被服業）同
▲中村清文氏（土木業）同
▲西村久氏（會社員）同
▲久保小市氏（電業社員）同
▲山本弓兵衛氏（商業）同
▲小谷安之助氏（會社員）同中央ホテル
▲谷保太郎氏（電業社員）同
▲石戸谷勵氏（官吏）同滿蒙ホテル
▲筒井行夫氏（機械商）同
▲中野勇介氏（官吏）同
▲武方寅之進氏（同）同
▲榊原嘉明氏（同）同
▲永田政人氏（商業）同國際ホテル
▲神子勇氏（官吏）同
▲國分明太郎氏（同）同
▲松村保三氏（電業社員）同
▲野中惟一氏（同）同
▲西谷定晴氏（長春農事）同
▲細野淳氏（商業）同蓬萊ホテル
▲渡邊通氏（官吏）同富士屋旅館

出發

▲村田稔氏 二十四日大連へ
▲米澤泰長氏 奉天へ
▲岸本勘太郎氏 同
▲山尾敏郎氏 哈市へ
▲松下外次郎氏 雄基へ
▲佐々木敬一氏 奉天へ
▲內藤政次氏 同
▲吉本光三氏 同
▲佐伯美津留氏 哈市へ
▲木村實氏 同
▲遠藤隆氏 圖們へ
▲廣川卯市氏 大連へ
▲吉崎民之輔氏 奉天へ
▲木村武之助氏 同
▲小澤輸氏 間島へ
▲細見勇造氏 東京へ
▲櫻井伊右衛門氏 奉天へ
▲關本德松氏 同
▲柳原喜四郎氏 同
▲內田徹氏 同
▲田中實稻氏 承德へ
▲牧野廉一氏 四平街へ
▲松尾俊市氏 哈市へ
▲武石淺治氏 大連へ
▲高橋盛男氏 天津へ
▲入江武男氏 吉林へ

その日く

□上海方面の敵つひに總崩れとなる、これは局面進展への巨きな里標である
□江南の天地震撼して、いまや南京の政治構築も動搖免れ得まい
□戰火熾するに反比例して列國の輿論冷靜となるとすれば愈よ支那は希望を喪ふ
□いはゆる最後の關頭なるものをしみ／＼味はふべき時であらう
□麗かな日こゝに續き、新線建設成るとの朗報などを聞く樂土讃ふべし

明朗國都目指し 浮浪者、乞食狩り
一旦市立救濟院へ送り たゝき直して出す

首都警察廳保安科では嚢に不正業者の一齊檢擧を行ひ治廢前の管内肅正を斷行したが、今度は都市の美觀を害ひ軍大社會的寒心事でもあつた街の浮浪者、物乞ひの一掃を期し二十五日午前十時より十一時迄管下各警察署を總動員してこれが檢擧を行つた、檢擧數は全部で二百餘名に上る見込で各警察署で一應取調べの上市公署の救濟院に送り、こゝで一定の職業を授け再び社會に送り出す筈である、今迄街頭に氾濫してゐた物乞ひ、浮浪者はこの最後的檢擧をもつて完全に姿を消し明朗な國都が實現された譯である

軍犬に贈る 慰問金二百圓

支那事變勃發以來第一線の將兵と共に華々しき活躍をつゞけてゐる物云はぬ勇士軍用犬に對する慰問品募集は滿洲軍犬協會新京支部が率先着手したが各方面の情の籠つた慰問金約二百圓に達したので一と先づ募集を打ち切り月末頃現地に送附し更に第二回の募集を開始する豫定である

豫備將校に新兵術教育
學科及び各科教練實施

在鄕軍人新京聯合分會では豫備役將校の新兵術教育を廿五日午前九時より新京警備隊において約二百人の出席者を得て同隊岡本中佐指導の下に學科、分隊教練演習を行ひ、多大の好成績をおさめて午後三時終了した、更に引續いて廿五、廿六日午後四時半より六時半にわたつて小隊教練をなし終了することになつてゐる

商議聯合會 當局と懇談
治廢を協議

新京商工會議所では近く實施せられる治外法權撤廢附屬地行政權移讓問題ならびに滿洲國經濟、産業諸政策に關し當局の詳細なる説明を聽取するため全滿商議聯合會加盟團體その他參集し二十七日午前十時より滿鐵新京支社にて懇談會を開催することになつた、同懇談では午前十時より正午まで治廢ならびに附屬地行政權移讓問題に關し大使館山本書記官より詳細なる説明があり、更に午後二時より滿洲國經濟、産業諸政策に關し經濟部西村次長、永井文書科長および産業部岸次長よりそれぞれ説明があり終つて近く公布される商工會議所法に就いてその内示が行はれる筈である

鄕軍第三分會の未教育兵訓練

在鄕軍人新京第三分會では未教育補充兵の教育を二十五日より毎日午後四時より六時まで新京商業校庭において行ひ二十日を以て終了當日は五十嵐聯合分會長臨席の下に閲兵分列をなすことになつた

競馬場荒し
チンピラ掏摸團捕はる

本年シーズン最終を飾る臨時競馬六日目廿四日ファンの昂奮に混雜せる競馬場で掏摸犯五名が一網打盡に逮捕された廿四日午後四時頃新京署鄭張兩刑事が競馬場にて警戒張込み中擧動不審の少年を發見取調べたところ右は山東省生れ現住所三笠町一丁目十三番地魏光明（一四）で最終競馬をあてこみ入場し二回に亙り八圓を掏り尚共犯ある旨の自供にもとづいて朝鮮咸鏡北道生れ金永秀（一四）を逮捕金は掏摸十圓とさらに主犯共犯を逐一自白に及び搜査の結査一味が同競馬場内で一網に捕つたが、主犯は朝鮮京城生れ前科二犯朴明俊（二八）で朴は四五日前牡丹江より前記金永秀外朝鮮咸鏡南道淸津府生れ張龍世（一五）同所兪相俊（一七）の三少年を新京に於て就職せしめるの甘言を弄し連れ來つて右三少年に命令掏摸を働かせたことが判明した、目下嚴重取調べ中であるが一味は時計、鞄等の贓品時價百圓餘を所持し競馬場での被害他餘罪多數あるものと見られてゐる

大壁畫突撃の圖 完成

今春の靖國神社大祭を期して九段靖國神社境内の國防館壁面を飾る大畫幅が帝展洋畫家瀨野覺藏氏によつて完成した、描き出される現代科學兵器戰の實況は我國にも類少く縱十五尺、横二十尺余カンバスの廣大なることも亦未曾有でその美擧に出た富國徵兵保險會社に對しては、いたく關係者を感激せしめてゐる、（寫眞は突撃の圖）

三人組窃盜 金泰を荒す

廿四日午後八時頃日本橋通り金泰洋行内に於て目下大賣出し中の混雜に乘じ萬引を働いた三人男が警戒中の新京署川崎刑事に逮捕された

伏見宮令子女王殿下薨去

【東京國通】伏見宮令子女王殿下御薨去につき廿五日午前六時四十分宮内省では鹽原書記官の名をもつて左の如く發表した
伏見宮博義王第二女令子女王殿下には本月廿一日より感冒に罹らせられ、御療養中のところ氣管支、肺炎、御併發、本日午前二時十五分薨去遊ばされた、なほ令子女王殿下は御七才未滿のため公式には御服喪遊ばされない

木の葉を吹き落して けさ國都に强風
愈よ一足飛びに冬の肌

初雪、降霜、マイナス五度と五日前の寒さの連續ですつかり多裝束を整へた人も自然もこゝ二、三日の氣まぐれ天氣の暑さに末梢神經の調子が狂ひそうになつた、だがさすがに草木は生氣を失ひしなび切つた枯葉を枝間に止めあはれた晩秋の光景を呈してゐた二十五日朝六時の最低は五度五分、次第に上昇し十二時には一十度にはね上り水銀柱は依然として高い數字を示してゐるが、朝から秒速十五米の强風が吹きつけ凍くの思ひでついてゐた枯葉を無情にも振り落しアスファルトの路上にカサ〳〵と舞ひ上り舞ひ下り、國都は僅か半日の間に全く枯葉と坊主樹木の街となつてしまつた、ビューッと吹きつける風は秋の斷末魔のうめき聲の樣だ、多の訪れは先づ皮膚に感じて、今度は我々の視覺でそれをはつきり感じた

梅輯線（梅河口通化間）完成
十一月一日より本營業開始

交通部發表（二十五・午前十時）＝梅河口、通化間鐵道は昭和十二年十月三十一日工事完成する豫定なるを以て滿洲國政府は滿鐵會社にこれが經營を委託し十一月一日より本營業を開始す

前途愈よ有望な 東邊道の産業
＝沿線一帶の産業紹介＝

來る十一月一日より本營業開始の運びとなつた梅輯線は奉吉線の梅河口驛より發し天然の寶庫東邊道を橫斷して滿鮮國境の古都輯安に至る二二八七キロの鐵道で昨年四月梅河口より工事を起し早くも本年六月には通化まで（一三〇キロ）の假營業を開始、今回いよ〳〵本營業開始を見るに至つたもので、國線は南滿寶庫東邊道開拓の動脈幹線として重大なる役割を有するものである、東邊道一帶は從來地理的關係上政治、文化と相離るゝ事遠く、これがため各地に匪賊の横行猖獗を極め民衆は無殘にも窮乏の一途を辿り、一方産業方面においても鐵、石炭、金等無限の鑛産資源を擁しながら空しく放置されて來たのであるが、その後日滿兩軍の間斷なき討匪工作と滿洲國政府の積極的復興工作とにより治安の回復、地方行政の整備、更に産業開發の急速なる進展を示し往年のダークサイド東邊道は今や王道の樂土と化すに至つたので今回梅輯線の本營業開始は同方面に於ける經濟的發展、文化の向上に一層の拍車を加へるべく同線に課せられる期待は極めて大なるものがある

□

梅輯線—梅河口、通化間の本營業開始を機會に沿線一帶に於ける産業の概況を述べてみやう、地理的にみて平野に乏しく感ぜられるが比較的水利に惠れた土地多く水田の開拓は將來極めて有望で既に入植した一萬餘人は殆んど水田耕作に從事してゐる、農作物は大豆を主とし高粱、包米、葉煙草等が耕作され通化に集散を豫想される特産物のみにても左の如き數字に上つてゐる

大豆	五二、九九三石
高粱	二六、〇〇一石
粟	九、七二三石
水稻	二四、八三二石
包米	二〇、一二五石

又滿洲國のホープといはれる鐵鑛資源については滿洲國政府をはじめ滿鐵、滿炭、鐵鑛等の調査進行に伴ひ鐵、石炭、金、石綿等が多數埋藏されてゐることが明かとなり目下これに對する施設が着々進められてゐる、石炭は通化附近に約五千萬キロトンの埋藏量を有し鐵は磁鐵鑛二千萬キロトンは確實とされ、この外老嶺の山金、雲母或は石綿等大量埋藏されてゐる、かくの如く天然の資源に惠まれた秘庫東邊道の扉は正に開かれ輝かしい明日を約束されるに至つたのである

列車運轉時刻

かねて建設工事中の梅輯線梅河口、通化間は、いよ〳〵來る十一月一日より鐵道總局の手により本營業を開始することゝなつたが、同區間における列車運轉時刻左の通りである

△下り混合五五一列車 梅河口發 九時四〇分
柳河着 一〇、五三
同發 一一、一四
三源浦着 一二、五五
同發 一三、二五
通化着 一五、二五

△上り混合五五二列車 通化發 八時一五分
三源浦着 一〇、二九
同發 一〇、五六
柳河着 一二、三九
同發 一二、五八
梅河口着 一四、一〇

なほ總局では右本營業開始と同時に客貨連絡の圓滑を期するため奉吉線における客貨車の一部運轉時刻改正を行ふことゝなつたが、客車の改正時刻左の如し

△下り混合五四一列車 吉林發 一四時五五分
磐石着 一九、二二
同發 一九、四〇
朝陽鎭着 二〇、三三
同發 二〇、五一
梅河口着 二一、四七

△上り混合五四二列車 梅河口發 五時三五分
朝陽鎭着 六、二八
同發 六、四五
磐石着 七、三九
同發 七、四七
吉林着 一二、〇〇

新設錦縣郵政管理局
來月一日より業務開始
副局長に松岡三雄氏が就任

郵政總局では錦州、熱河地方の政治、經濟の重大性に鑑み錦州に錦縣郵政管理局を設置すべく準備中であつたが愈よ十一月一日より業務開始の運びとなつだ、然して新設錦州管理局は從來の奉天郵政管理局の中より錦州、熱河、興安南省を分離管掌するものであるが察南地方、冀東地區の整備につれて同地方との關係は益々密接となり重要な役割を演ずるものとみられる、なほ人事は左の如く決定し局長は當分缺員のまゝ郵政權移讓後に補充するもの、如く副局長には現新京管理局業務處長の松岡三雄氏が就任、同氏今後の手腕は期待されてゐるが北支接壤地帶に於ける滿洲國施設が漸次充實するは注目に値する、主要人事は左の通りである

副局長 松岡三雄
（新京管理局業務處長）
監察處長 楊少成
（吉林郵局長）
業務處長 仲西實雄
（新京監察處長）
保險處長 川島巍
（奉天城内局長）
貯金處長 陳夢園
電政處長 石井良一
（本部郵政科事務官）
秘書處長 永戶保二
（ハルビン管理局事務官）
會計處長 業務處長兼務

上海戰況寫眞 月末頃展覽會
滿鐵弘報課撮影

滿鐵弘報課員の撮影になる北支第一線の寫眞展は過般新京に於て開催待日參觀者千名に及ぶ盛況で好個の資料として各方面の絶讚を博したが、今回第二回として上海の敵前上陸及び我海軍の空軍部隊並に陸軍の活躍をカメラに收めた最前線の稀有なる資料約百點の展覽會を催し一般に公開することゝになり目下會場其他準備中であるが月末頃開場の豫定である

電話交換業務開始

電々會社では來る十一月一日から左記電報局に電話交換業務を開始し電報電話局と改定する事となつた
濱江省珠河縣珠河 珠河電報局

ダバオ在留邦人 海軍機獻納

【ダバオ廿三日發國通】さきに陸軍機を獻納して愛國の赤誠を示したダバオ日本人會では二十三日の評議員會においてさらに海軍に對し報國機を獻納することに決定した、獻金募集は來る十一月三日から開始する筈である

三十圓を窃取した、倚三名とも萬引常習犯と見られ餘罪嚴重追及中である

犯人は朝鮮咸鏡南道生れ住所不定林爾淵（二二）、奉天生れ李秉賢（二三）、河北省生れ劉官田（一八）で右三名は八時前後に現行犯中を別々に發見逮捕されたもので各自日用品時價二、

滿人婦女にも 焚き方實地指導

過般新京煤煙防止委員會主催日滿商事燃料相談部で擧行された女中、ボーイさんの石炭の焚き方實地指導と講演會は豫期以上の成果を收めて終了したので更に滿洲國人方面にも呼びかけ燃料節約煤煙防止の趣旨徹底を計畫中のところ國防婦女會からも進んで實地講習方を委員會に申し込んで來たので近く日滿商事燃料相談部に於ては前回同樣の方法で滿人婦女の講演と實地指導を行ふことゝなつた

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金一萬一千三百四十四圓二十二錢
一慰問袋 千二百九十五個（關東軍司令部へ）
一金一千四百五十六圓三錢（駐滿海軍部へ）
累計 一万二千八百圓廿五錢
……十月二十三日迄の分……

滿鐵辭令
（新京支社）

新京支社庶務課長 副參事 村田稔
新京支社地方課長事務取扱ひを命ず
新京支社長兼新京支社地方課長事務取扱
參事 山口十助
兼務を免ず（十月十三日）

ネオン街ニュース
新人紹介 その一 紅さん
浪華の名華 先着一行十二名の内

ミス東洋初多の羅甸陣

公學校て菊花即賣

新京公學校兒童の丹精こめた實習園の菊花は豫想外の出來ばへを見せてゐるが同校ではこれを一般に頒つため即賣に應じることになつた希望者は午前九時から午後五時までに來校されたいと

消費節約協議

國民精神總動員運動の一たる消費節約の强調實踐に入るべく二十三日午後二時より奉天地方事務所に協和會、聯合町會、滿鐵社員會聯合會、國防婦人會、愛國婦人會の各機關代表參集、資源愛護思想の普及、一般物資の再生産とその利用價値等に關し協議を行ひ消各機關を通じ消費節約實踐運動を一齊に開始すべきことを申合せると共に物資再生産に關する研究會設置を中央に上申することに決し、同四時散會した

拉濱線爆破犯人 一味十二名捕る

【哈爾濱國通】本年五月廿八日夜半舊哈爾濱東南方濱綏線と拉濱線とのクロス點より拉濱線寄り三四十米の急勾配線路を强力なる爆藥を以て爆破せる事件はその後日滿兩當局の活躍の結果、遂にこの程哈爾濱經緯署特務係の手によつて犯人一味十二名の逮捕をみるに至つた經緯署特務係では本月初旬某方面の情報により道外において于順利なる怪漢を逮捕取調べの結果、右爆破事件に關係あることが判明したので、俄然緊張し、疾風迅雷的に廿日までに一味十二名を珠數繋ぎに逮捕、峻烈なる取調べの結果、遂に右爆破事件の犯行を自白するに至つたが、于順利以下十二名の犯人は常に駐哈某國總領事館からの指令に基き暗躍、今次爆破事件にも莫大な報酬を受けて行つたものであることが判明、取調べの進行につれ如何なる陰謀が暴露するか成行注目されてゐる

五十嵐夫人葬儀

市内新發路五十嵐組主五十嵐辰豐氏千里夫人の葬儀は二十六日午前八時より同十時まで自宅に於て告別式を執行する由である

西鄕正憲氏死去

吉野町二丁目廿栗太郎主西鄕正憲氏は病氣療養中であつたが藥石効なく去る廿三日死去葬儀は内地より遺族も東京したので明廿六日午後四時半經王寺にて執行される

あす（廿六日）

▲中島與一氏講演會、午後七時白菊會館

◇今晩の主なる演藝放送◇
▲八・〇〇常磐津「大森彦七」（東京）常磐津松尾太夫外▲八・二五長唄名曲選「秋色種」（東京）吉住小四郎外▲八・五五連續講談「笹野名槍傳」（東京）大島伯鶴

演藝映画

日活〝勸進帳〟 阪妻、千惠藏に轟の顔合せ

日活の「水戸黄門廻國記」は四日の封切以來空前の人氣を呼び旣に正月のレコードを突破し無類の成績である、此成績に斷然氣を良くした重役館主連は右作品監督の勞を負つた池田富保監督に金一封を送ると共に、館主連の要望により來春三月封切の豫定であつた阪妻、千惠藏、轟の顔合せを以て「勸進帳」を繰上、これを正月物として敢然面賓に一戰をいどむこととなつた、右「勸進帳」は堀川夜討より吉野山、安宅關を經て奥州落を描くもので、極めて大衆本位とし池田富保監督が責任を再び荷ふことになつた、大體の配役は次の如き豪華なものである

辨慶（阪東妻三郎）、富樫（片岡千惠藏）義經（尾上菊太郎）靜御前（轟夕起子）賴朝（江川宇禮雄）常陸坊（河部五郎）片岡（月形龍之介）龜井六郎（澤田清）伊勢三郎（瀨川路三郎）駿河次郎（山本禮三郎）土佐坊（高木永二）東大寺大僧正（山本嘉一）義朝（小杉勇）

又長唄には芳村伊十郎一派を招聘し出演せしめると

藤十郎の戀 東寶と松竹で競映

林長二郎を引拔かれた松竹では時代劇の强化を圖るため青年歌舞伎若手俳優による映畫製作を行ふことになりその第一回作として菊池寛氏作『藤十郎の戀』を田之助、勘彌扇雀等で製作することになつた尙東寶でも長二郎主演で『藤十郎の戀』の映畫化を發表したからこの名狂言は圖らずも犬猿兩社で同時に競作される譯である

松竹京都の正月 三作品

松竹京都では旣報の如く十六日東西合同企畫營業會議を開催・長二郎の退社による諸對策及び正月作品の檢討を行ひ幹部において愼重協議をなしたが、左の如き三大作品を正月に發表すること、決定、準備の成り次第直に撮影開始することゝなつた

一、坂東好太郎主演ほかオールスター出演、守田勘彌特別出演、衣笠貞之助監督『闇太郎ざんげ』

一、高田浩吉主演、近藤勝彥監督『一心太助』

一、坂東好太郎主演、秋山耕作監督『幡隨院長兵衞』

ナンセンスの寅次郎さんに模範監督の賞

松竹大船のナンセンス王と言はれる齋藤寅次郎監督は、珍無類のナンセンス物を製作してゐるので、知らない人は寅次郎監督をそのナンセンス映畫の主人公みたいな、凡そナンセンス極まる人物であらうと失禮な推測をしてゐるが・何ぞ圖らん寅さんはあれで中々に勤勉な人物で、今度松竹大船の模範監督となつた、非常時局の大船では城戸所長の主張に基づいて、映畫製作非常時體制を布いてゐるが、寅次郎監督は「支那に怒鳴る」の製作に當つて、身を以てこの城戸イズムを實踐し、徹夜撮影全廢、撮影開始及び終了時間或は食事、俳優交代時間の勵行、更にノーNG主義の徹底等從來の撮影機構の缺點を打破して驚異的能率をあげ今や大船には「寅サン出かしたり」と賞讃の聲が漲つてゐる

さぼてん

待合五十鈴が記念公會堂の裏手で愈よ開業した、當局の粹な計らひと主人寺川君の趣向を凝らした設計で內地ソックりの風情ある待合であることは新京の人々にとつては嬉しい限りで、土曜、日曜をかけて奉天迄足を伸ばす必要もなからう▼各部屋とも控へ間付きで近く室內電話も準備される由、こつそりとシケ込むにもつて來いであることを請合つて置く▼こゝの五十鈴の主人寺川君はかつて早稻田大學の野球のチヤンとして持て囃された男、どうして待合經營をやるようになつたかは想像に任すが、女將は當年三十五歲十五年前に奉天の料亭金六で梅千代と名乘つて左り褄、二年間の間に前借一萬圓をキレイサツパリ洗ひ落した利け者であることは滿洲草分けの人々に知られてゐるところ、ダイヤ街すみれの龍子クンは女將の義妹である、まづは御披露まで

雜音

豐劇の次週は廿七日から東寶全プロ、「戰ひの曲」と「禍福」の二本立、岡讓二、霧立のぼる、入江たか子、高田稔の顔觸れがものを言はう東寶一番もこゝではこれが最後、これも最後を飾るには相應しい商品價値を備へてゐる▼帝都の次週は舊マキノの作品三本短期プロ、どういふ廻り合せか不相應なプロである

廿九日から豫定されてある「旅順港」の添へものは未だ決定しない、折角勢ひ込んだものを不味いことになつた

火曜　丙戌　先勝　建　室宿

舊十月九月廿三日　月廿六日

●一白の人　紅葉の美も凋落して葉を振ひ落せし如き日　庚と辛と壬が吉

●二黑の人　策戰意の如くならず現狀を固守するが安全　乙と壬と丑が吉

●三碧の人　上長の咎め金錢上の間違を生ぜんとす注意　甲と丙と辛が吉

●四綠の人　人の爲めに卷添へを喰ひ迷惑することあり　乙と丁と辛が吉

●五黃の人　前後を顧み沈思默考して徐ろに立つがよし　丙と申と癸が吉

●六白の人　理想の實現に努むべき日永遠の基礎固らん　丁と申と癸が吉

●七赤の人　今日成し得ざる事には手を染めぬがよろし　壬と癸と丑が吉

●八白の人　人を遇するに温情を以てせざれば後難あり　乙と丁と壬が吉

●九紫の人　稀有の幸運日新規の計畫或は擴張など適當　乙と申と辛が吉

滿洲國も日本に準じ貿易管理法立案

輸出入の全面的統制樹立へ

滿洲國政府はさきに外國爲替に關する管理取締りの强化を圖りこれによつて日本と同一步調を持ちつゝ國際收支の改善に資することゝなつたが、これと併行して當然施行さるべき貿易管理法についてもかねてより考究し既に經濟部原案の成立を見目下關係方面にてこの原案に基き愼重推敲を重ねてゐる、しかして之が內容は大體において日本の輸出入品措置法と大差なきもので

一、政府において特に必要と認むるときは物品を指定し輸出入の制限又は禁止をなすことを得

一、需給關係の調節上必要ある場合は制限又は禁止品を原料とする製品について統制を加へ更にその配給、消費についても同樣統制なすことを得

等がその骨子をなすものと見られてゐる、同法公布と共に政府はささに爲替管理法の公布と同時に一應指示した禁止物品及び制限物品その他について詳細指示する筈であるがこれによつて輸出入に關する物と金との兩面にわたる全面的統制の樹立を見ることになる譯である

特產中央會の明年新規事業

新情勢に重要任務加はる

滿洲特產中央會康德五年度事業計畫及び收支豫算案は廿三日大連において開催された第廿六回理事會の正式承認を經て產業部に提出された、特產中央會は今年度より實踐に移されゝ農民の協同組織化及び農業開發五ケ年計畫の一元的遂行機關である農事合作社運動の創設によりこれが政府外補助機關としての重要任務につくことになり、更に明年度より施行される重要特產物國營檢査の代行機關として檢査業務を執行し、更に滿洲國の海外貿易、就中特產物の輸出增進策を積極化する必要上國內外調査事業機關の新設擴張をはかる等、國內及び國外新情勢に即應すべく著しく機能の充實及び業務分野の擴大を來すことゝなつたゝめ明年度豫算は前年度豫算額に比較して約十萬圓の膨脹を來してゐる、しかして右經費增加の財源は政府及び滿鐵よりの現在年額補助金廿萬圓、十三萬圓を夫々六萬圓、三萬圓計九萬圓の增額を受けこれに充當する豫定であり、明年度事業計畫中新計畫事業及びこれが實施對策の大要左の如し

一、宣傳事業

特產物の展示 海外市場における滿洲特產物輸出助成及び新販路開拓に資するため政府、滿鐵その他關係機關と協力し、日本（五回）獨逸（一回）において開催する見本市及び海外各地における博覽會、展覽會、見本市に出品す

二、助成事業

イ、大豆粕飼料化助成事業 大豆粕の用途轉換策として引續き大豆粕の飼料化普及奬勵をなし、明年度は更に內地新規委託六縣を增加し更に朝鮮にも積極的に本事業を實施し以て國內油房工業の振興をはかる

ロ、大豆精選機の發明助成 大豆調製の改善をはかるため二ケ年計畫を以て賞金一萬圓を提供し優良大豆精選機の速急出現をはかる

三、調査事業

滿洲國經濟情勢が漸次戰時態勢に移行するに從ひ、國際收支の改善をはかる上において國際商品としての滿州特產物の輸出振興は焦眉の急であり、從つてこれが市場性及びこれに對する競爭品の動向に關する海外における調査事業の重要性は益々加重するに拘らず、滿洲國は未だ海外に商務官制度を設けず、且つ國內的には農事合作社に對する情報提供等政府に代つて一切の事業を代行するため

1 特產物市價調整に關する調査
2 新販路開拓に關する調査
3 國內における滯貨並に出廻調査
4 取引ならびに生產改善に關する調査

を行はんとするものである、これがため調査機關を整備擴充し東京、大阪、哈爾濱、ベルリン、漢堡、ニユーヨーク上海、香港の現存調査の外さらにロンドン、アレキサンドリア、マニラ、カルカツタ、ボンベイ、ブエノスアイレス、シドニー、サイゴン、シンガポール、スラバヤ、サンフランシスコに調査機關を新設し滿洲特產物の世界市場進出に對する萬全の處置をとるものである、前記各項調査の實施要綱左の如し

一、特產物市價調整に關する調査

特產物の適正妥當なる市場價格を調査し生產者及び需要地の弊害回避に努めつつ農事合作社等の產業政策運用に資するもので、前記調査網の整備により海外主要地における基準價格及び相關價格の研究調査をなし

1 當該ならびにその競爭品の生產消費の變移狀況
2 同市場價格、運賃その他流通過程上の諸經費の變移狀況
3 輸出入、滯貨の變移狀況
4 產業貿易政策の變移狀況
5 その他經濟上影響を及すべき事項

を研究調査し、更にこれが研究會、座談會を開催する

二、新販路の開拓に關する調査

米國、近東、印米國、近東、印度、南洋地方等に於る競爭出現に對する既存市場の確保および新販路新用途の開拓および今次事變に依り中絕せる支那中繼南洋貿易に對し直接輸出の方策を樹立するため歐洲中和蘭ノールウエー、スエーデンチエツコスロバキア、フインランドに對しては歐洲駐在員をして調査に當らしめ南洋および印度に對しては本部調査員現地調査をなすの外、更に營業者を包括する新販路擴張委員會を設立し研究せしむ

三、國內における滯貨ならびに出廻調査

價格變動の素因は最も影響を有すべき滯貨及び出廻に關する綜合調査をなし不當價格の變動を防止するため檢査機關の設立により架設される滿鐵社用電話線を利用し檢査員をして擔當地區內の

イ、檢査地ストツク
ロ、同院內附近ストツク
ハ、同國內の出廻旬日豫想高

を毎日報知せしむ

四、取引ならびに製產改善に關する調査

甲、規格標準の研究 需給の實情に即應せる規格標準を研究調査し將來檢査實施上の利便及びこれが促進を圖るため實情の現地調査及び關係者と協議し適正なる規格の研究調査をなす

乙、取引改善に關する調査 新舊配給機關の摩擦を回避するため取引上の變革に關する調整及び海外市場情勢に順應すべき對策を調査す

丙、製油工業振興に關する調査 製油工業振興に關する既存委員會の研究調査をなす

結氷期を前に

北滿船舶交通終る

北滿各河川の結氷を目前に控へ去る十八の黑龍江漠河埠頭營業停止を皮切りに哈爾濱＝富錦間二十二日、哈爾濱＝佳木斯間は二十三日、また二十四日からは哈爾濱＝三姓間がいづれも船舶の運航を停止しこゝに本年度における北滿の船舶交通はいよいよ終末を告げることゝなつたが、本年開港以來十月十日までの哈爾濱埠頭における移出入概算は移入四十五萬六千九百屯で昨年同期に比し三萬七千三百屯の減少を示し移出は六萬六千屯と昨年に比し九千屯の增加を示してゐる、また同期間における船客數は總計四十八萬三千人に達し昨年同期に比し七萬三千人の激增を示してゐる

（單位屯）括弧內は前年同期

△移入

品目	本年	前年同期
大豆	一六三、〇〇〇	（一〇三、〇〇〇）
小麥	六六、一〇〇	（九一、〇〇〇）
其他雜穀	ベ、八〇〇	（一一、〇〇〇）
石炭	一六四、〇〇〇	（一六六、〇〇〇）
其他	五三、〇〇〇	（一六六、〇〇〇）
計	四五六、九〇〇	（四九四、二〇〇）
差引	三七、三〇〇減	

△移出

品目	本年	前年同期
雜貨	六六、〇〇〇	（五七、〇〇〇）
差引	九、〇〇〇增	

なほ同期間における佳木斯埠頭の移出入概況は

	本年	前年同期
△移入	二九、〇〇〇	（一四、〇〇〇）
差引	一五、〇〇〇增	
△移出	一〇、〇〇〇	（四三、〇〇〇）
差引	三三、〇〇〇減	

となつてゐるが、移入が昨年度に比し著しく增加を示してゐるに反し、移出が約半減してゐるのは昨年度における移入穀類の皆無に對し本年は約一萬屯の移入をみたこと、また昨年度における移出穀類四萬屯に對し本年度は全然これが移出を見なかつたゝめで圖佳線全通による同方面生產穀類の鐵道輸送の圓滑を如實に物語つてゐる

新京取引所

前週取引週報

混保大豆 先物 惡天候を材料に前週末吹上げし相場は週初十八日に至り天候恢復、出廻急增に押されて忽ち大反落十月限は六圓二錢と實に二十二錢方大放れて寄付いたが、跡引續き天候順調に奧地筋の賣人氣强く、週央二十日には五圓六十三錢の安値迄一路崩落を演じた、然るに此の邊り値頃と見て實需筋に稍々買氣萠し、相場は一時愎りに轉じたが、買一服と共に再び奧地筋の賣物に下押し、週末二十三日十月限五圓六十三錢五厘と軟調裡に越週した

	高値	安値	出來高
	圓	圓	車
十月限	六・〇[illegible]	五・六三	二、一八八
十一月限	五・七[illegible]	五・五[illegible]	[illegible]

本週總出來高 二、一七九車、一日平均 三六三車

高粱 先物 二十一日後場十一月限三圓九十五錢、十一月限三圓九十錢で一車の乘替商內を見たのみで引續き閑散を呈した

	高値	安値	出來高
	圓	圓	車
十月限	三・九五	三・九五	一
十一月限	三・九〇	三・九〇	一

本週總出來高 二車

商況欄 前場（二十三日）

海外經濟電報

▲倫敦金塊 七磅〇五志八片〇〇
倫敦銀塊 一九片八分七
同先限 一九片一六分三
紐育金塊 休會
紐育銀塊 休會
孟買銀塊 五〇留比四分一

▲外國爲替
英米爲替 四弗九五仙一〇
米日爲替 二八弗九〇仙
英日爲替 一志二片〇〇
米支爲替 二九弗仙五五
英支爲替 一志二片八分〇
印日爲替 七七留比二分一

▲市俄古小麥
スチール株 五三弗八分三
アナコンダ株 二八弗〇〇〇
十二月限 九七仙四分一
五月限 九六仙八分五
七月限 九一仙四分三

▲紐育棉花
現物 八仙三四
十二月限 八仙一四
一月限 八仙一五
三月限 八仙〇九
五月限 八仙〇八
七月限 八仙一〇
十月限 八仙二八

▲印棉
ブローチ 一六五留〇〇
オームラ 一四四留〇〇
ベンゴール 一三九留比分一

▲カルカツタ麻袋
當限 二四留比一六分二
次限 二二留比一六分三

各地株式市況

▲阪神爲替
對米 賣 二八弗 一六分三
　　 買 二八弗 四分三
對英 賣買 一志二片〇〇

▲滿洲中銀爲替
上海向 九四弗〇〇
天津向 九四弗〇〇
紐育向 二八弗八分七
倫敦向 一志二片〇〇

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
新鐘	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸

	寄付	大引
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

	納	會
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

	納	會
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪期米

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲橫濱生糸

	寄付	大引
現物	—	—
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

各地特產市況

▲新京

	寄引	出來高
現物		
大豆	[illegible]	一車
高粱	—	—
小豆	—	—
玉蜀黍	—	—
包米	—	—
先物 ●大豆 十月限	[illegible]	一〇四車
十一月限	[illegible]	九四車
●高粱		
現物	—	—
當限	—	—
先限	—	—
十月限	—	—
十一月限	—	—

▲大連

	寄付	大引
●大豆 袋入 十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
●豆粕 現物	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
●豆油 現物	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]

青春の宿（二〇）

須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫

眼ひ寄る（二）

耀子だつた。

『はあ……』

『わからないの？耀子よ』

『わかつてゐますよ――』

『まあ、はつきりしないのね この電話は――』

耀子は、もどかしさうにいつたが

『もう、讓さんは、會社が退けるんでせう？――』

『はあ……もう、十分ほどです』

『では、五時二十分までに、阪急の入口まで來らつしやいな……久しぶりに、お飯をいたゞいて遊びにゆきたいから……』

『しかし……』

『なにが、しかしよ――ほゝいゝわね――命令よ。五時二十分までに、來なかつたら、ひどいから……社長令孃の命令にそむいたら、すぐ、馘よ――わかつて？……ぢや、待つてゐるわ』

ひとりで、賑やかにまくしたてゝ、耀子は、電話をきつてしまつた。

讓治は、輕い困惑の色をたゝへたが、しかし、行きたくないといふ强い氣持があるわけでもない。

退社時刻が來て廊下に出ると、いつものやうに、千鶴子が、エレベーターのところで待つてゐた。

エレベーターをおりきつて――外に出ると。

『千鶴子――いま、お孃さんから電話があつて、何か話があるといふことだから、君だけ、先に歸つておくれ……僕は、すこし遲くなるかもしれないからね。ご飯は先にすましてくれていゝよ』

千鶴子が、心もち、さびしげな肩を見せると讓治は、何か、すまぬ氣がして

『あすは、お母さんと、みんなで寶塚へでも行かう――お母さんにも、さういつておいておくれ』

と、慰めるやうにいつた。

千鶴子の乘つた市電がさつてから、三つ目の市電をつかまへて乘り――やがて、阪急の梅田驛前に下車したが、舖道に立ちどまつて左右を見渡してゐると、するすると、近付いて來た一臺のタクシーの中から、耀子の、いたづららしく笑つた眼が、讓治をみつめてゐた。

『や――』

ドアが開かれて――降りるのかと思つたら

『どうぞ――』

と、運轉手が讓治にいつた。

中にはいると――運轉手は行先も訊ねずに、ペタルを踏んだ。

『どこへ行くんですか』

『どこでもいゝぢやないの？』

『しかし……』

『行く先がわからなくては、怖いと仰有るの――ほゝ臆病になつたのね』

『臆病になつたのではありませんが……折角、あなたの忠告もあつて、正道に立ちかへつたのに――あなたの方から誘惑するのは、けしからんぢやありませんか』

『誘惑だつて……ほゝゝ。わたしと一緒なら、どんなとこへいつたつて、墮落しはしないわ――安心してゐらつしやい』

讓治は、またしても、苦笑するほかはなかつた――。

食事の間ぢう、耀子は、明るい口調で、[illegible]に話しかけるのだつた。